

特249

848

理研究資料

改正健康保險法關係法規

健康保險法 同施行規則

同施行令 同關係樣式

□ 參考資料

健康保險法ノ改正要綱……關係法令中ノ一部改正

勤勞管理研究會

(舊名) 社會事情調査所



0035346000

0035346-000

特249-848

改正健康保險法關係法規

勤勞管理研究会

昭和18

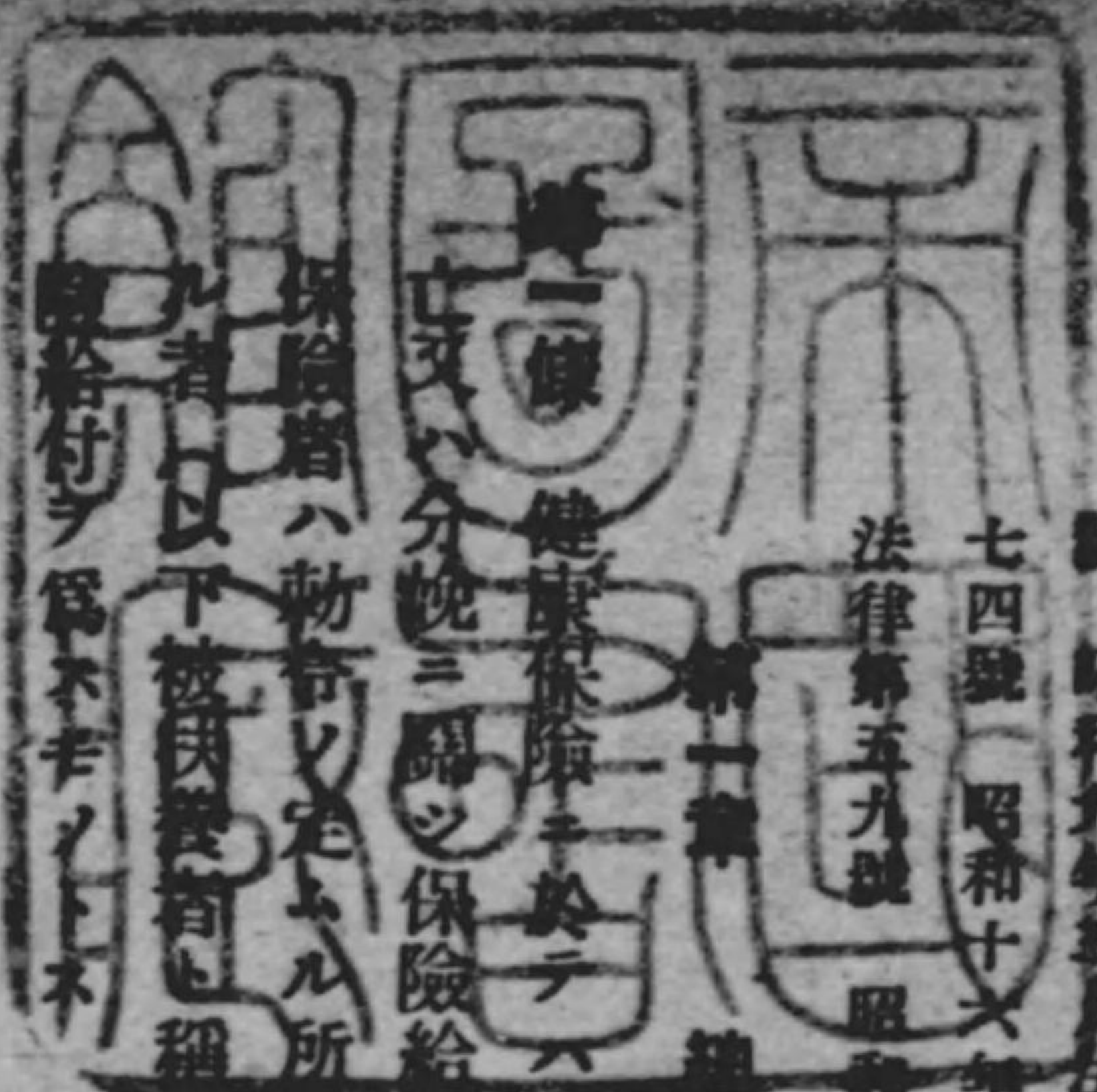
AGD

特 249
848

改正健康保險法關係法規

健康保險法(大正十一年四月二十二日)

【沿革】大正十五年三月法律第三四號 昭和四年三月勅令第二〇
號 昭和九年三月法律第一三號 昭和十四年四月法律第
七四號 昭和十六年三月法律第三五號 昭和十六年三月
法律第五九號 昭和十七年二月法律第三八號



則

第一條 健康保險ニ於テハ保險者カ被保險者ノ疾病、負傷、死
亡ハ分擔ニ關シ保險給付ヲ爲スモノトス
保險者ハ勅令ヲ定ムル所ニ依リ被保險者ニ依リ生計ヲ維持ス
ル者以下被扶養者ト稱スノ疾病、負傷又ハ分擔ニ關シ保
險給付ヲ爲スモノトス
第二條 本法ニ於テ報酬ト稱スルハ事業ニ使用セラルル者カ勞
務ノ對價トシテ受クル賃金、給料又ハ俸給及之ニ準スヘキモ
ノヲ謂フ
賃金、給料又ハ俸給ニ準スヘキモノノ範圍及評價ニ關シテハ
勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 報酬ノ額ニ基キ保險料又ハ保險給付ノ額ヲ定ムル場合
ニ於テ標準報酬ニ依リ之ヲ算定ス

標準報酬ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ徵收シ又ハ被
ノ還付ヲ受クル權利及保險給付ヲ受クル權利ハ一年ヲ經過シ
タルトキハ時効ニ因リテ消滅ス
前項ノ時効ノ中斷、停止其ノ他ノ事項ニ關シテハ民法ノ時効
ニ關スル規定ヲ準用ス

命令ノ定ムル所ニ依リ保險者ノ爲ス保險料其ノ他本法ノ規定
ニ依ル徵收金ノ徵收ノ告知ハ民法第五百十三條ノ規定ニ準
ス時効中斷ノ效力ヲ有ス

第五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定スル期間ノ
算ニ付テハ民法ノ期間ノ計算ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 健康保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス

第七條 保險者又ハ保險給付ヲ受クヘキ者ハ被保險者又ハ被保
險者タリシ者ノ戶籍ニ關シ戶籍事務ヲ管掌スル者又ハ其ノ代
理者ニ對シ無償ニテ證明ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ規定ハ第一條第二項ノ保險給付ヲ爲ス場合ニ於テハ被
扶養者又ハ被扶養者タリシ者ノ戶籍ニ關シ之ヲ準用ス

第八條 保險者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ヲ使用スル事
業主ヲシテ其ノ使用スル者ノ異動、報酬等ニ關シ報告ヲ爲サ



シメ又ハ文書ヲ提示セシメ其ノ他健康保険ノ施行ニ必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

第九條 行政官廳ハ必要アリト認ムルトキハ被保險者ノ異動及報酬並ニ保險給付ノ決定ニ關シ當該官吏ヲシテ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ勤務場所ニ就キ關係者ニ對シ質問ヲ爲シ又ハ帳簿書類其ノ他ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條ノ二 行政官廳保險給付ニ關シ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該官吏ヲシテ診療録其ノ他ノ帳簿書類ヲ検査セシムルコトヲ得

第十條 主務大臣ハ本法ニ規定スル其ノ職權ノ一部ヲ命令ヲ以テ行政官廳ニ委任スルコトヲ得

第十一條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ滯納スル者アルトキハ保險者ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

前項ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ督促手数料及延滞金ヲ徵收ス

第十一條ノ二 前條ノ規定ニ依ル督促ヲ受ケタル者其ノ指定ノ期限迄ニ保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ納付セザルトキハ保險者ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分シ又ハ滯納者若ハ其ノ者ノ財産ノ在ル市町村ニ對シ之ガ處分ヲ請求スルコトヲ得但シ健康保險組合ガ保險者ナル場合ニ於テ國稅滯納處分ノ例ニ依リ處分スルコトヲ得ルハ市町村ニ對シ處分ヲ請

求スルモ市町村ガ其ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ著手セズ又ハ九十日以内ニ之ヲ結了セザル場合ニ限ル

前項但書ノ規定ニ依リ健康保險組合ガ國稅滯納處分ノ例ニ依リ處分ヲ爲ス場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルコトヲ要ス

保險者ガ第一項ノ規定ニ依リ市町村ニ對シ處分ヲ請求シタルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テハ保險者ハ徵收金額ノ百分ノ四ヲ當該市町村ニ交付スベシ

第一項及前項ノ規定ニ於テ市町村アルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

第十一條ノ三 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノ徵收金ニ次キ他ノ公課ニ先ツモノトス

第十一條ノ四 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ニ關スル書類ノ送達ニ付テハ國稅徵收法第四條ノ七及第四條ノ八ノ規定ヲ準用ス

第十二條 國、北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ事業ニ使用セラルル者ニ關シテハ本法ノ適用ニ付勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第二章 被保險者

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル事業所ニ使用セラルル者ハ健康保險ノ被保險者トス

一 工場法第一條ノ規定ニ依リ同法ノ適用ヲ受クル工場

二 鑛業法ノ適用ヲ受クル事業場又ハ工場

三 法人又ハ命令ヲ以テ定ムル團體ノ事務所ニシテ常時五人以上ノ従業員ヲ使用スルモノ

四 左ニ掲グル事業ノ事務所ニシテ常時五人以上ノ従業員ヲ使用スルモノ

(イ) 物ノ製造、加工、選別、包裝、修理又ハ解體ノ事業

(ロ) 礦物ノ採掘又ハ採取ノ事業

(ハ) 電氣又ハ動力ノ發生、傳導又ハ供給ノ事業

(ニ) 貨物又ハ旅客ノ運送ノ事業

(ホ) 貨物積卸ノ事業

(ヘ) 物ノ販賣ノ事業

(ト) 金融又ハ保險ノ事業

(チ) 物ノ保管又ハ貸貸ノ事業

(リ) 媒介周旋ノ事業

(ヌ) 集金、案内又ハ廣告ノ事業

第十三條ノ二 前條ノ規定ニ拘ラズ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ健康保險ノ被保險者トセズ

一 船員保險ノ被保險者(勅令ヲ以テ指定スル者ヲ除ク)

二 一年ノ報酬ガ勅令ヲ以テ定ムル額ヲ超ユル職員

三 臨時ニ使用セラルル者ニシテ勅令ヲ以テ指定スルモノ

四 前各號ニ掲グル者ノ外勅令ヲ以テ指定スル者

前條ノ規定ニ依リ健康保險ノ被保險者タルベキ者ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノ國民健康保險ノ被保險者タル期間ハ之ヲ健康保險ノ被保險者トセズ

第十四條 第十三條ニ規定スル事業所以外ノ事業所ノ事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事務所ニ使用セラルル者ヲ包括シテ健康保險ノ被保險者ト爲スコトヲ得

前項ノ認可ヲ申請スルニハ被保險者ト爲ルベキ者ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第十五條 前條ノ認可アリタルトキハ其ノ事業所ニ使用セラルル者ハ健康保險ノ被保險者トス

第十三條ノ二ノ規定ハ前項ノ場合ニ準用ス

第十五條ノ二 健康保險ノ被保險者ヲ使用スル事業所ノ事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事業所ニ使用セラルル第十三條ノ二第一項第二號ニ該當スル者ヲ包括シテ健康保險ノ被保險者ト爲スコトヲ得

第十三條ノ二(第一項第二號ヲ除ク)、第十四條第二項及前條第一項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十六條 第十三條ノ事業所カ同條ノ規定ニ該當セサルニ至リタルトキハ其ノ事業所ニ付第十四條ノ認可アリタルモノト看做ス

第十七條 第十三條、第十五條及第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ業務ニ使用セラルルニ至リタル日又ハ第十三條ノ三、第十五條第二項若ハ第十五條ノ二第二項ノ規定ニ該當セサルニ至リタル日ヨリ其ノ資格ヲ取得ス

第十八條 第十三條、第十五條及第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ハ死亡シタル日、其ノ業務ニ使用セラレサルニ至リタル日又ハ第十三條ノ二、第十五條第二項若ハ第十五條ノ二第二項ノ規定ニ該當スルニ至リタル日ノ翌日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス但シ其ノ事實アリタル日ニ更ニ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第十九條 第十五條又ハ第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ヲ使用スル事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ被保險者ノ全部ヲシテ其ノ資格ヲ喪失セシムルコトヲ得
前項ノ認可ヲ申請スルニハ被保險者ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
第一項ノ認可アリタルトキハ被保險者ハ認可アリタル日ノ翌日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第二十條 第十八條ノ規定ニ依リ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニシテ喪失ノ日前二月以上被保險者タリシモノハ勅令ノ定ムル所ニ依リ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得

第二十一條 前條ノ規定ニ依ル被保險者ハ同條ノ規定ニ依リ被保險者ト爲リタル日ヨリ六月ヲ經過シタルトキ其ノ他勅令ヲ以テ定ムル事由ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ資格ヲ喪失ス

第十八條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル被保險者ガ死亡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三章 保險者

第二十二條 健康保險ノ保險者ハ政府及健康保險組合トス
第二十三條 保險者ハ被保險者及被扶養者ノ疾病若ハ負傷ノ療養又ハ被保險者及被扶養者ノ健康ノ保持増進ノ爲必要ナル施設ヲ爲シ又ハ之ニ必要ナル費用ノ支出ヲ爲スコトヲ得

第二十三條ノ二 保險者ハ事業ニ支障ナキ場合ニ限り被保險者及被扶養者ニ非ザル者ヲシテ前條ノ施設ヲ利用セシムルコトヲ得
保險者ハ其ノ施設ヲ利用スル者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ利用料ヲ請求スルコトヲ得

第二十四條 政府ハ健康保險組合ノ組合員ニ非サル被保險者ノ保險ヲ管掌ス

第二十五條 健康保險組合ハ其ノ組合員タル被保險者ノ保險ヲ管掌ス

第二十六條 健康保險組合ハ法人トス

第二十七條 健康保險組合ハ事業主及其ノ事業所ニ使用セラルル被保險者ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十八條 一又ハ二以上ノ事業所ニ付被保險者常時三百人以上ヲ使用スル事業主ハ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得
被保險者ヲ使用スル二以上ノ事業主ハ共同シテ健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ被保險者ノ員數ハ合算シテ常時三百人以上タルコトヲ要ス

第二十九條 健康保險組合ヲ設立セムトスルトキハ組合員タル資格ヲ有スル被保險者ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得規約ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

二以上ノ事業所ニ付健康保險組合ヲ設立セムトスル場合ニ於テハ前項ノ同意ハ各事業所ニ付之ヲ得ルコトヲ要ス

第三十條 前二條ノ規定ニ於テ被保險者トアルハ第十四條第一項又ハ第十五條ノ二第一項ノ規定ニ依リ認可ノ申請ト同時ニ健康保險組合ノ設立認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルヘキ者トス

第三十一條 主務大臣ハ一又ハ二以上ノ事業所ニ付第十三條ノ規定ニ依ル被保險者常時五百人以上ヲ使用スル事業主ニ對シ

健康保險組合ノ設立ヲ命スルコトヲ得

第三十二條 前條ノ規定ニ依リ健康保險組合ノ設立ヲ命セラレタル事業主ハ規約ヲ作り設立ニ付主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十三條 (削除)

第三十四條 健康保險組合ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時ニ成立ス

第三十五條 健康保險組合成立シタルトキハ事業主及其ノ事業所ニ使用セラルル被保險者ハ總テ之ヲ組合員トス

第三十六條 健康保險組合ノ規約ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三十七條 主務大臣ハ健康保險組合ニ對シ事實ニ關スル報告ヲ爲サシメ事業及財産ノ狀況ヲ検査シ、規約ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三十七條ノ二 主務大臣ハ健康保險組合ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ第二十三條ノ施設ヲ爲スコトヲ命ジ又ハ之ニ必要ナル費用ノ支出ヲ命ズルコトヲ得

第三十八條 健康保險組合ノ役員ニ缺陷若ハ故障アルトキ又ハ組合ノ役員保險給付其ノ他ノ執行スヘキ職務ヲ執行セサルトキハ主務大臣ハ官吏又ハ其ノ他ノ者ヲ指定シテ其ノ職務ヲ執行セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ職務ノ執行ニ要スル費用ハ健康保險組合ノ負擔トス

第三十九條 主務大臣ハ健康保險組合ノ決議若ハ役員ノ行爲カ法令、主務大臣ノ處分若ハ規約ニ違反シ、組合員ノ利益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキ又ハ組合ノ事業若ハ財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ役員ヲ解職シ又ハ組合ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第四十條 解散ニ依リテ消滅シタル健康保險組合ノ權利義務ハ政府之ヲ承繼ス

第四十一條 本法ニ規定スルモノノ外健康保險組合ノ管理、財産ノ保管及利用方法、分合解散其ノ他健康保險組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條 同時ニ二以上ノ事業所ニ使用セラルル被保險者ノ保險者ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第四十二條ノ二 健康保險組合ハ共同シテ其ノ目的ヲ達スル爲健康保險組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

健康保險組合聯合會ハ法人トス

健康保險組合聯合會ヲ設立セントスルトキハ規約ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

主務大臣ハ健康保險組合ニ對シ健康保險組合聯合會ニ加入スルコトヲ命ズルコトヲ得

第二十三條、第二十三條ノ二、第三十四條、第三十六條乃至第三十九條及第四十一條ノ規定ハ健康保險組合聯合會ニ之ヲ

準用ス

第四十三條 被保險者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ左ニ掲グル療養ノ給付ヲ爲ス

- 一 診察
- 二 藥劑又ハ治療材料ノ支給
- 三 處置、手術其ノ他ノ治療
- 四 病院又ハ診療所ヘノ收容
- 五 看護
- 六 移送

前項第四號乃至第六號ノ給付ハ保險者ガ必要アリト認ムル場合ニ於テ爲スモノニ限ル但シ命令ヲ以テ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十三條ノ二 前條第一項第一號乃至第四號ノ給付ヲ受ケントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險醫及保險藥劑師並ニ保險者ノ指定スル者ノ中自己ノ選定シタル者ニ就キ之ヲ受クルモノトス此ノ場合ニ於テハ勅令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外主務大臣ノ定ムル所ニ依リ一部負擔金ヲ支拂フベシ

第四十三條ノ三 保險醫又ハ保險藥劑師ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ就キ行政官廳之ヲ指定ス

醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ハ正當ノ理由ナクシテ保險醫又ハ

保險藥劑師タルコトヲ拒ムコトヲ得ズ

醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ヲ使用スル者ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ガ保險醫又ハ保險藥劑師タルコトヲ妨グルコトヲ得ズ

第四十三條ノ四 保險醫及保險藥劑師ガ療養ノ給付ヲ擔當スルニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十三條ノ五 保險醫若ハ保險藥劑師又ハ之ヲ使用スル者ガ療養ノ給付ニ關シ保險者ニ申請スベキ費用ノ額ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第四十四條 療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナル場合又ハ被保險者ノ申請アリタル場合ニ於テハ保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

第四十四條ノ二 療養ノ給付ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ關シ其ノ給付ヲ始メタル日ヨリ起算シ六月ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲サス

主務大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ期間ヲ超エ繼續シテ療養ノ給付ヲ爲スモノトス

第四十五條 被保險者療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルトキハ其ノ期間傷病手當金トシテ一日ニ付職員ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノニ在リテハ報酬日額ノ百分ノ五十ニ相當スル金額ヲ、其ノ他ノ者ニ在リテハ報酬日額ノ百分ノ六十ニ相當スル

金額ヲ支給ス但シ業務上ノ事由ニ依リ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合以外ノ場合ニ於テハ勞務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル日ヨリ起算シ第四日ヨリ之ヲ支給ス

第四十六條 病院又ハ診療所ニ收容シタル被保險者ニ對シテ支給スベキ傷病手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

第四十七條 傷病手當金ノ支給期間ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ關シテハ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハザルニ至リタル日ヨリ起算シ六月ヲ以テ限度トス

第四十四條ノ二第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

傷病手當金ハ其ノ支給期間ヲ經過セザルトキト雖モ療養ノ給付ヲ爲シ得ル期間ヲ經過スルニ至リタルトキハ之ヲ支給セズ

第四十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ保險者ハ第四十四條ノ二ニ規定スル期間ヲ超エテ療養ヲ必要トスル者ニ對シ繼續シテ療養ノ給付ヲ爲スコトヲ得

一 他ノ法令ノ規定ニ依リ事業主ヨリ扶助ヲ受クヘキ者ニ付其ノ事業主ヨリ申請アリタルトキ

二 前號以外ノ場合ニ於テ療養ノ給付ニ要スル費用ノ償還ニ付擔保ヲ提供シ其ノ他確實ナル方法ヲ定メ本人又ハ第三者ヨリ申請アリタルトキ

前項第一號ノ場合ニ於テハ療養ノ給付ニ要シタル費用ニ相當

スル金額ハ事業主ヨリ之ヲ徴收ス

第四十九條 被保險者死亡シタルトキハ被保險者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノニ對シ埋葬料トシテ被保險者ノ報酬月額ニ相當スル金額ヲ支給ス但シ其ノ金額カ三十圓ニ滿タサルトキハ之ヲ三十圓トス

被保險者死亡シタル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依リ埋葬料ノ支給ヲ受クヘキ者ナキトキハ埋葬ヲ行ヒタル者ニ對シ前項ノ金額ノ範圍内ニ於テ其ノ埋葬ニ要シタル費用ニ相當スル金額ヲ支給ス

第五十條 被保險者分娩シタルトキハ分娩費トシテ勅令ヲ以テ定ムル額ヲ、出産手當金トシテ分娩ノ前後勅令ヲ以テ定ムル期間一日ニ付報酬日額ノ百分ノ六十ニ相當スル金額ヲ支給ス

第五十一條 保險者ハ被保險者ヲ産院ニ收容スルコトヲ得産院又ハ病院若ハ診療所ニ收容シタル被保險者ニ對シテ支給スベキ分娩費及出産手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

第五十二條 分娩ニ關スル保險給付ニ付テハ勅令ヲ以テ分娩前一定ノ期間被保險者タリシ者ニ非サレハ之ヲ爲ササルコトヲ定ムルコトヲ得

第五十三條 (削除)

第五十四條 出産手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ期間傷

病手當金ハ之ヲ支給セス

第五十五條 被保險者ノ資格ヲ喪失シタル際疾病、負傷又ハ分娩ニ關シ保險給付ヲ受クル者ハ被保險者トシ保險給付ヲ受クルコトヲ得ヘカリシ期間繼續シテ同一保險者ヨリ其ノ給付ヲ受クルコトヲ得

第五十六條 前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受クル者死亡シタルトキ、前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケタル者其ノ給付ヲ受ケサルニ至リタル日以後三月以内ニ死亡シタルトキ又ハ其ノ他ノ被保險者タリシ者被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日以後九十日以内ニ死亡シタルトキハ被保險者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノハ最後ノ保險者ヨリ埋葬料ノ支給ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ埋葬料ノ支給ヲ受クル者ナキ場合及前項ノ埋葬料ノ金額ニ付テハ第四十九條ノ規定ヲ準用ス

第五十七條 被保險者タリシ者被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日以後勅令ヲ以テ定ムル期間内ニ分娩シタルトキハ分娩ニ關シ被保險者トシテ受クルコトヲ得ヘカリシ保險給付ヲ最後ノ保險者ヨリ受クルコトヲ得

第五十七條ノ二 前三條ノ規定ニ拘ラズ被保險者タリシ者船員保險ノ被保險者又ハ勅令ヲ以テ定ムル者ト爲リタルトキハ保險給付ヲ爲サズ

第五十八條 疾病ニ罹リ負傷シ又ハ分娩シタル場合ニ於テ繼續シテ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ニ對シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間傷病手當金又ハ出産手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セス

第五十九條 前條ニ掲クル者疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分娩シタル場合ニ於テ其ノ受クルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコト能ハサリシトキハ保險者ハ之ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ傷病手當金又ハ出産手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給ス

前項ノ規定ニ依リ保險者ノ支給シタル金額ハ事業主ヨリ之ヲ徴收ス

第五十九條ノ二 第一條第二項ノ保險給付ニ關シ其ノ種類、範圍其ノ他必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十條 被保險者又ハ被保險者タリシ者自己ノ故意ノ犯罪行為ニ依リ又ハ故意ニ事故ヲ生セシメタルトキハ保險給付ヲ爲サス

第六十一條 被保險者鬪争、泥酔若ハ著シキ不行跡ニ因リ又ハ故意ニ危害豫防ニ關スル業務上ノ監督ノ指揮ニ從ハサルニ因リ事故ヲ生セシメタルトキハ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲ササルコトヲ得

第六十二條 被保險者又ハ被保險者タリシ者左ノ各號ノ一ニ該

當スル場合ニ於テハ疾病、負傷又ハ分娩ニ關シ其ノ期間ニ保險給付ハ之ヲ爲サズ

一 陸海軍ニ徴收又ハ召集セラレタルトキ

二 本法施行區域外ニ在ルトキ

三 矯正院其ノ他之ニ準ズベキモノニ入院セシメラレタルトキ

キ

四 監獄、留置場又ハ勞役場ニ拘禁又ハ留置セラレタルトキ

他ノ法令ノ規定ニ依リ國又ハ公共團體ノ負擔ニ於テ療養費ノ支給又ハ療養アリタルトキハ其ノ限度ニ於テ療養ノ給付ヲ爲サス

前項ニ掲クル者ニ付テハ第四十六條及第五十一條第二項ノ規定ヲ準用ス

保險者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者第一項各號ノ一ニ該當スル場合ト雖モ第一條第二項ノ保險給付ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

第六十三條 保險者ハ正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハサル者ニ對シ之ニ爲スベキ保險給付ノ一部ヲ爲サザルコトヲ得

第六十四條 保險者ハ詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケムトシタル者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ定メ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲ササルコトヲ得

第六十五條 保險者ハ必要アリト認ムルトキハ保險給付ヲ受ク

ル者ノ診斷ヲ行フコトヲ得

保險者ハ正當ノ理由ナクシテ前項ノ診斷ヲ拒ミタル者ニ對シ
保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲ササルコトヲ得

第六十六條 保險給付ノ支給期日ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定
ム

第六十七條 保險者ハ事故カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場
合ニ於テ保險給付ヲ爲シタルトキハ其ノ給付ノ價額ノ限度ニ
於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者カ第三者ニ對シテ有スル
損害賠償請求ノ權利ヲ取得ス

第六十八條 保險給付ヲ受ケル權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ差押フル
コトヲ得ス

第六十九條 保險給付トシテ支給ヲ受ケタル金品ヲ標準トシテ
租稅其ノ他ノ公課ヲ課セス

第六十九條ノ二 第六十條、第六十二條第一項及第二項、第六
十五條並ニ第六十七條ノ規定ハ被扶養者ニ之ヲ準用ス

第五十五條ノ規定ハ第一條第二項ノ保險給付ニ之ヲ準用ス

第六十九條ノ三 保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ本章ニ規定ス
ル保險給付ニ併セテ保險給付トシテ其ノ他ノ給付ヲ爲スコト
ヲ得

第五章 費用ノ負擔

第七十條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ健康保險事業ニ要スル

費用ノ一部ヲ負擔ス

第七十一條 保險者ハ健康保險事業ニ要スル費用ニ充ツル爲保
險料ヲ徵收ス

保險料ノ算定ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十二條 被保險者及被保險者ヲ使用スル事業主ハ各保險料
額ノ二分ノ一ヲ負擔ス但シ第十五條ノ二又ハ第二十條ノ規定
ニ依リ被保險者ハ其ノ全額ヲ負擔ス

第七十三條 業務ノ性質上事故多キ事業ニ使用セラルル被保險
者又ハ少額ノ報酬ヲ受ケル被保險者ニ對スル保險料ニ付テハ
勅令ヲ以テ事業主ノ負擔スヘキ割合ヲ增加スルコトヲ得

第七十四條 被保險者ノ負擔スヘキ保險料額ハ一月ニ付報酬月
額ノ百分ノ三ヲ超ユルコトヲ得ス但シ被保險者タル資格ヲ喪
失シタル月ニ於テ被保險者タル資格ヲ取得シタル者及第十五
條ノ二又ハ第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ニ付テハ此ノ限ニ
在ラズ

前項ニ規定スル制限ヲ超エテ保險料ヲ徵收スルコトヲ要スル
場合ニ於テハ其ノ超過部分ハ事業主ノ負擔トス

第七十五條 健康保險組合ハ第七十二條若ハ前條ノ規定又ハ第
七十三條ニ基キテ發スル勅令ノ規定ニ拘ラス其ノ規約ヲ以テ
事業主ノ負擔スヘキ保險料額ノ負擔ノ割合ヲ增加スルコトヲ
得

第七十六條 被保險者第六十二條第一項各號ノ一ニ該當スル場
合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ期間保險料ヲ徵收セス

第七十七條 事業主ハ其ノ使用スル被保險者ノ負擔スヘキ保險
料ヲ納付スル義務ヲ負フ但シ第二十條ノ規定ニ依リ被保險者
ノ負擔スル保險料ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七十八條 事業主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ
納付スヘキ保險料ヲ被保險者ニ支拂フヘキ報酬ヨリ控除スル
コトヲ得

第七十九條 保險料ノ納付期日ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六章 審査ノ請求、訴願及訴訟

第八十條 保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ地方社會保險
審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ中央社會保險
審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アル者ハ通常裁判所ニ
訴ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ審査ノ請求ハ時効ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求
ト看做ス

第八十一條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ノ賦課又ハ
徵收ノ處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所
ニ出訴スルコトヲ得

第八十二條 前條ノ規定ニ依リ訴願ノ提起アリタルトキハ主務
大臣ハ中央社會保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スヘシ

第八十三條 社會保險審査會ノ組織及審査ニ關シ必要ナル事項
ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十四條 第十一條ノ二ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ主
務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第八十四條ノ二 第八十一條及前條ノ規定ニ依リ訴願又ハ行政
訴訟ニ關シテハ健康保險組合ハ之ヲ行政廳ト看做ス

第八十五條 社會保險審査會ハ審査ノ爲必要アリト認ムルトキ
ハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據ヲ爲スコトヲ得

證據調ハ所要ノ事務ヲ取扱フヘキ地ノ區裁判所ニ之ヲ囑託ス
ルコトヲ得

證據調ニ關シテハ民事訴訟法ノ證據調ニ關スル規定及民事訴
訟費用法第九條及第十一條乃至第十三條ノ規定ヲ準用ス但シ
健康保險審査會ノ爲ス證據調ニ關シテハ過料ニ處シ又ハ拘引
ヲ命スルコトヲ得

第八十六條 審査ノ請求、訴ノ提起又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提
起ハ處分ノ通知又ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以
内ニ之ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ審査ノ請求ニ付テ訴願法第
八條第三項ノ規定ヲ、訴ノ提起ニ付テハ民事訴訟法第五百十
八條第二項及第五百九十九條ノ規定ヲ準用ス

二ノ規定ニ依ル診療録ノ検査ニ關シ得シタル醫師若ハ齒科醫師ノ業務上ノ秘密又ハ個人ノ秘密ヲ漏洩シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

職務上前項ノ秘密ヲ知得シタル他ノ公務員又ハ公務員タリシ者故ナク其ノ秘密ヲ漏洩シタルトキ亦前項ニ同ジ

第九條ノ二ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

正當ノ理由ナクシテ第九條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ其ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十八條 第八條ノ規定ニ依ル保險者ノ請求アリタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ報告ヲ爲サズ、虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ文書ノ提示ヲ拒ミタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十九條 健康保險組合ノ設立ヲ命セラレタル事業主正當ノ理由ナクシテ主務大臣ノ指定スル期日迄ニ設立ノ認可ヲ申請セザルトキハ其ノ手續ノ遅延シタル期間其ノ負擔スヘキ保險料額ノ二倍ニ相當スル金額以下ノ過料ニ處ス

第九十條 健康保險組合及健康保險組合聯合會カ第三十七條(第四十二條ノ二第五項ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ處分ヲ拒ミ若ハ妨ケタルトキハ其ノ役員ヲ百圓以下ノ過料ニ處ス

本法ニ基キテ發スル健康保險組合ニ關スル勅令ニ於テハ組合カ之ニ違反シタル場合ニ於テ其ノ役員ヲ百圓以下ノ過料ニ處スル規定ヲ設クルコトヲ得

第九十一條 (削除)

第九十二條 事業主營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セザル未成年者若ハ禁治產者ナル場合又ハ法人ナル場合ニ於テハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令中事業主ニ適用スヘキ罰則ハ其ノ法定代理人又ハ法令ノ規定ニ依リ法人ヲ代表スル者ニ之ヲ適用ス

第九十三條 事業主ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ代テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

附則 (昭和四年三月法律第二〇號)

本法ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和四年三月法律第二〇號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第八十六條ノ改正規定中民事訴訟法ノ規定ノ準用ニ關スル部分ハ大正十五年法律第六十一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和九年三月法律第十三號)

本法ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本法實施ノ爲ニ豫メ必要ナル事項ニ關シテハ同年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和十四年四月法律第七十四號)

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

分曉ニ關スル保險給付ニシテ第五十三條ノ改正規定施行ノ日前ニ爲シタルモノ及同規定施行ノ日ノ前後ニ跨ルモノニ關スル費用ノ分擔ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

附則 (昭和十七年二月法律第三十八號)

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

職員健康保險法ハ之ヲ廢止ス

前項ノ規定施行前ノ職員健康保險ノ保險給付及保險料其ノ他ノ數收金ニ關シテハ仍舊法ニ依ル

第二項ノ規定施行ノ際現ニ存スル職員健康保險組合ハ同規定施行ノ日ヨリ健康保險組合ト爲リ職員健康保險組合ノ權利義務ヲ承繼スルモノトス

第二項ノ規定施行ノ際現ニ職員健康保險ノ被保險者タル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ健康保險ノ被保險者ト爲リタルモノトス

第二項ノ規定施行ノ際現ニ職員健康保險ノ被保險者タリシ者ニシテ健康保險ノ被保險者ト爲リタルモノノ受クル健康保險ノ保險給付ニ關シテハ其ノ者ガ職員健康保險ノ被保險者タリシ期間ハ健康保險ノ被保險者タリシ期間ト看做シ其ノ者ガ職員健康保

本法ニ基キテ發スル健康保險組合ニ關スル勅令ニ於テハ組合カ之ニ違反シタル場合ニ於テ其ノ役員ヲ百圓以下ノ過料ニ處スル規定ヲ設クルコトヲ得

第九十一條 (削除)

第九十二條 事業主營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セザル未成年者若ハ禁治產者ナル場合又ハ法人ナル場合ニ於テハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令中事業主ニ適用スヘキ罰則ハ其ノ法定代理人又ハ法令ノ規定ニ依リ法人ヲ代表スル者ニ之ヲ適用ス

第九十三條 事業主ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ代テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

附則 (昭和四年三月法律第二〇號)

本法ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和四年三月法律第二〇號)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第八十六條ノ改正規定中民事訴訟法ノ規定ノ準用ニ關スル部分ハ大正十五年法律第六十一號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和九年三月法律第十三號)

本法ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本法實施ノ爲ニ豫メ必要ナル事項ニ關シテハ同年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

健康保險法施行令

(大正十五年六月三十日)
勅令第二四三號

昭和二年三月勅令第三〇號 昭和二年七月勅令第二二號
昭和四年五月勅令第一四三號 昭和四年七月勅令第二五〇號
昭和九年十二月勅令第四〇〇號 昭和十三年一月勅令第二〇號
昭和十五年六月勅令第三七三號 昭和十六年六月勅令第七一五號
昭和十六年十月勅令第九〇六號 昭和十七年一月勅令第三五號
昭和十七年三月勅令第二九一號 昭和十七年十一月勅令第七六一號 昭和十七年十二月勅令第八二六號

第一章 總則

第一條 健康保險法第一條第二項ニ規定スル被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者(以下被扶養者ト稱ス)ノ範圍ハ引續キ六月以上被保險者タリシ者ノ配偶者(届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム以下之ニ同ジ)及子ニシテ專ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スルモノ竝ニ其ノ被保險者ト同一ノ世帯ニ屬シ專ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スル者トス

第一條ノ二 健康保險法第二條第一項ノ賃金、給料又ハ俸給ニ準スヘキモノノ範圍ハ常時又ハ定期ニ受クル給與其ノ他ノ利益トス但シ左ニ掲ケルモノヲ除ク

一 三月ヲ超ユル期間毎ニ支給スル賞與又ハ手當
二 通勤手當又ハ外勤手當
三 住居ニ關スル利益又ハ住宅料ニシテ賃金、給料又ハ俸給

ノ額ノ決定ニ影響ナキモノ

第二條 賃金、給料又ハ俸給ニ準スヘキモノノ全部又ハ一部カ金錢以外ノ給與其ノ他ノ利益ナル場合ニ於テハ其ノ價額ハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ)ノ定ムル標準價額ニ依リ之ヲ算定ス

前項ノ標準價額ハ其ノ地方ノ時價ニ依リ之ヲ定ム

健康保險組合第一項ノ規定ニ拘ラス規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第三條 健康保險法第三條第一項ノ標準報酬ハ被保險者ノ報酬月額ニ基キ左ノ區別ニ依リ之ヲ定ム

標準報酬ノ等級	月額	日額	報酬月額
第一級	十圓	三十錢	十五圓未満
第二級	二十圓	七十錢	十五圓以上二十五圓未満
第三級	三十圓	一圓	二十五圓以上三十五圓未満
第四級	四十圓	一圓三十錢	三十五圓以上四十五圓未満
第五級	五十圓	一圓七十錢	四十五圓以上五十五圓未満
第六級	六十圓	二圓	五十五圓以上六十五圓未満
第七級	七十圓	二圓三十錢	六十五圓以上七十五圓未満
第八級	八十圓	二圓七十錢	七十五圓以上八十五圓未満

第九級	九十圓	三圓	八十五圓以上九十五圓未満
第十級	百圓	三圓三十錢	九十五圓以上百圓未満
第十一級	百十圓	三圓七十錢	百圓以上百十五圓未満
第十二級	百二十圓	四圓	百十五圓以上百二十五圓未満
第十三級	百三十圓	四圓三十錢	百二十五圓以上百三十五圓未満
第十四級	百四十圓	四圓七十錢	百三十五圓以上百四十五圓未満
第十五級	百五十圓	五圓	百四十五圓以上

第四條 標準報酬ハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日ノ現在ニ依リ之ヲ定ム

被保險者ノ報酬ガ其ノ増減アリタルニ因リ従前ノ報酬月額ニ基キ定メラレタル標準報酬ニ該當セザルニ至リタル場合ニ於テハ其ノ報酬ニ増減アリタル月ノ翌月(報酬ニ増減アリタル日ガ月ノ初日ナルトキハ其ノ月)ヨリ其ノ標準報酬ヲ變更ス

健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ノ標準報酬ニ付テハ引續キ従前ノモノニ依ル

第五條 第三條ニ規定スル被保險者ノ報酬月額ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ算定ス

一 年ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ現在ニ於ケル年額

ノ十二分ノ一

二 月ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日ノ現在ニ於ケル月額

三 日、時間、稼高又ハ請負ニ依リ報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日前一月間ニ使用セラルル事業ニ於テ同様ノ業務ニ從事シ同様ノ報酬ヲ受クル者ガ受ケタル報酬ノ額

四 前三號ノ規定ニ依リ算定シ難キモノニ付テハ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日又ハ報酬ニ増減アリタル日前一月間ニ其ノ地方ニ於テ同様ノ業務ニ從事シ同様ノ報酬ヲ受クル者ガ受ケタル報酬ノ額

五 前各號ノ二以上ニ該當スル報酬ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ各ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額

六 同時ニ二以上ノ事務所ニ於テ報酬ヲ受クル場合ニ於テハ各事務所ニ付前各號ノ規定ニ依リ算定シタル額ノ合算額

被保險者ノ報酬月額ガ前項ノ規定ニ依リ算定シ難キトキ又ハ前項ノ規定ニ依リテ算定シタル額ガ著シク不當ナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス被保險者ニ於テ適當ノ方法ニ依リ之ヲ算定スベシ

被保險者ガ健康保險組合ナル場合ニ於テハ前項ノ算定方法ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第五條ノ二 健康保險法第十一條第一項ノ規定ニ依リ保險料其ノ他同法ノ規定ニ依ル徵收金納付ノ督促ヲ爲サントスルトキハ保險者ハ納付義務者ニ對シ督促狀ヲ發スヘシ

督促狀ヲ發シタルトキハ督促手數料トシテ二十錢ヲ徵收ス
第五條ノ三 前條ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ徵收金額百圓ニ付一日三錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ徵收金完納又ハ財産差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滞金ヲ徵收ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合又ハ滞納ニ付酌量スヘキ情狀アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 納入ノ告知書一通ノ徵收金額五圓未滿ナルトキ
二 納期ヲ繰上ケ徵收ヲ爲ストキ
三 納付義務者ノ住所及居所カ帝國内ニ在ラサル爲又ハ其ノ住所及居所共ニ不明ナル爲公示送達ノ方法ニ依リ納入ノ告知又ハ督促ヲ爲シタルトキ

督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徵收金及督促手數料ヲ完納シタルトキ又ハ前項ノ規定ニ依リ計算シタル金額ガ十錢未滿ナルトキハ延滞金ヲ徵收セズ

第六條 健康保險法又ハ本令ノ規定ニ依リ事業主カ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘキ場合ニ於テ政府カ事業主ナルトキハ厚生大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第七條 國、北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ

第九條ノ三 健康保險法第十三條ノ二第一項第二號ノ規定ニ依リ定ムル額ハ千八百圓トス

第九條ノ四 臨時ニ使用セラルル者ノ中左ニ掲グル者ハ健康保險法第十三條ノ二第一項第三號、第十五條第二項又ハ第十五條ノ二第二項ノ規定ニ依リ被保險者トセズ但シ第一號ニ該當スル者所定ノ期間ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リタルトキ又ハ第二號若ハ第三號ニ該當スル者一月ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 二月以内ノ期間ヲ定メテ使用セラルル者
二 使用期間ノ定ナク勞務供給契約ニ基キ使用セラルル者
三 日日雇入レラルル者
四 前各號ニ掲グル者ノ外厚生大臣ノ指定スル者

第九條ノ五 健康保險法第十三條ノ二第一項第四號ノ規定ニ依リ左ノ者ヲ指定ス

一 健康保險法第十三條第三號ノ規定ニ依リ被保險者タルベキ者ニシテ神社、宗教團體法第二條ノ規定ニ依ル法人又ハ北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニ使用セララルルモノ但シ第九條第一號及健康保險法第十三條第四號イ乃至ホニ掲グル事業ノ事務所並ニ同條第一號及第二號ノ事業所ノ事務所ニ使用セラルル者ハ此ノ限ニ在ラス
二 事業所ノ所在地ノ一定セザル事業ニ使用セラルル者

事業ニ使用セラルル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ健康保險ノ被保險者トセズ

一 官吏及待遇官吏
二 第九條第二號及健康保險法第十三條第四號(ハ乃至(又)ニ掲グル事業ノ事務所ニ使用セラルル者

第七條ノ二 國ノ事業ニ使用セラルル被保險者ニシテ第九條第一號及健康保險法第十三條第四號イ乃至ホニ掲グル事業ノ事務所並ニ同條第一號及第二號ノ事務所ニ使用セラルルモノガ共済組合ノ組合員ナル場合ニ於テ其ノ組合ノ給付ノ種類及程度ヲ厚生大臣ニ於テ適當ナリト認メ其ノ組合ヲ指定シタルトキハ其ノ被保險者ニ對シテハ同法ノ規定ニ依ル保險給付ヲ爲サズ
第八條 前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケザル者ニ付テハ保險料ハ之ヲ徵收セズ

第二章 被保險者
第九條 健康保險法第十三條第四號(ル)ノ規定ニ依リ左ノ事業ヲ指定ス

一 燒却、清掃又ハ屠殺ノ事業
二 物ノ配給(販賣ヲ除ク)ノ事業
第九條ノ二 健康保險法第十三條ノ二第一項第一號ノ規定ニ依リ船員保險法第二十條第一項ノ規定ニ依ル被保險者ヲ指定ス

三 前各號ニ掲グル者ノ外厚生大臣ノ指定スル者

第九條ノ六 疾病又ハ負傷ノ爲勞務ニ服スルコト能ハザル場合ニ於テ勞務ニ服スルコト能ハザルニ至リタル日ヨリ起算シ引續キ三月以上俸給又ハ給料ノ全額ヲ受クルコトヲ得ベキ職員ニシテ被保險者又ハ第七條ノ二ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル共済組合ノ承認ヲ受ケ國民健康保險ノ被保險者ト爲リタルモノハ健康保險法第十三條ノ二第二項ノ規定ニ依リ國民健康保險ノ被保險者タル期間健康保險ノ被保險者トセズ

第十條 健康保險法第十八條ノ規定ニ依リ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニシテ喪失ノ日前二月以上引續キ被保險者タリシモノハ其ノ資格ヲ喪失シタル日(繼續シテ保險給付ヲ受クル者ニ在リテハ其ノ給付ヲ受ケザルニ至リタル日)ヨリ十日以内ニ健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者トラントスル申請ヲ爲ストキハ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得但シ船員保險ノ被保險者(船員保險法第二十條第一項ノ規定ニ依ル被保險者ヲ除ク)又ハ勅令ニ依リ組織セラレタル共済組合ノ組合員タル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ニ規定スル期限ヲ經過シタル申請ト雖モ被保險者ニ於テ正當ノ事由アリト認ムルトキハ之ヲ受理スルコトヲ得
第十條ノ二 健康保險法第二十一條第一項ニ規定スル事由ハ左ノ如シ

- 一 保険料ヲ納付セズシテ命令ヲ以テ定ムル猶豫期間ヲ經過シタルトキ
 - 二 健康保險法第十三條、第十五條又ハ第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキ
 - 三 船員保險ノ被保險者(船員保險法第二十條第一項ノ規定ニ依ル被保險者ヲ除ク)又ハ勅令ニ依リ組織セラレタル共濟組合ノ組合員ト爲リタルトキ
- 第三章 健康保險組合及健康保險組合聯合會
- 第一節 組合ノ設立
- 第十一條 事業主健康保險組合ヲ設立スル爲健康保險法第二十九條ノ同意ヲ求ムル場合ニ於テハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ同條ノ被保險者(健康保險法第三十條ノ場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルヘキ者)全部ニ送付スヘジ
- 一 組合員タルヘキ者ノ範圍
 - 二 組合ノ組織ノ概要
 - 三 保險料ノ概要
 - 四 保險給付ノ概要
 - 五 其ノ他事業計畫ノ概要
- 第十二條 規約ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ
- 一 組合ノ名稱
 - 二 事務所ノ所在地

- 三 組合ノ設立アル事業所ノ名稱及所在地
 - 四 公示ノ方法
 - 五 其ノ他組合ニ關シ重要ナル事項
- 第十三條 組合ハ其ノ名稱中ニ健康保險組合ナル文字ヲ用フヘシ
- 健康保險組合ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ健康保險組合ヲ用フルコトヲ得ス
- 第十四條 組合設立ノ際ニ於テ定ムヘキ保險料率及初年度ノ收入支出ノ豫算ハ事業主之ヲ定メ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ
- 第十五條 組合設立ノ認可ヲ爲シタルトキハ厚生大臣ハ左ノ事項ヲ告示スヘシ
- 一 組合ノ名稱
 - 二 事務所ノ所在地
 - 三 組合ノ設立アル事業所ノ名稱及所在地
 - 四 認可ノ年月日
- 前項各號ノ事項ニ關スル規約ノ變更ヲ認可シタルトキハ厚生大臣ハ其ノ事項ヲ告示スヘシ
- 第十六條 組合設立ノ認可アリタルトキハ事業主ハ遲滞ナク規約ヲ公示スヘシ
- 第十七條 組合設立ノ認可アリタルトキハ事業主ハ遲滞ナク組合ヲ招集シ組合設立ノ經過、保險料率及初年度ノ收入支出

- ノ豫算其ノ他重要ナル事項ヲ報告スヘシ
- 第十八條 組合設立後理事就職ニ至ル迄ハ事業主理事ノ職務ヲ行フ
- 第二節 組合ノ會議
- 第十九條 組合ニ組合會ヲ置ク
- 組合會ハ組合會議員ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第二十條 議員ノ定數ハ十二人以上ノ偶數トシ其ノ半數ハ事業主ニ於テ事業主(若ハ其ノ代理人)及其ノ事業所ニ使用セララルル者ノ中ニ就キ之ヲ選定シ他ノ半數ハ被保險者タル組合員ニ於テ之ヲ互選ス
- 第二十一條 議員就職シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ公示スヘシ議員退職又ハ死亡シタルトキ亦同シ
- 第二十二條 議員ノ選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フヲ例トス
- 投票ハ無記名トシ一人一票ニ限ル
- 第二十三條 選舉人タル組合員議員ノ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第二十一條ノ公示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ理事ニ申立ツルコトヲ得
- 前項ノ申立アリタルトキハ理事ハ二十日以内ニ之ヲ組合會ノ決定ニ付シ其ノ決定アリタルトキハ遲滞ナク之ヲ公示スヘシ前項ノ決定ニ不服アル者ハ決定アリタル日ヨリ三十日以内ニ監督官廳ニ訴願スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ健康保險組合

- ヲ訴願法ノ規定ニ依リ行政廳ト看做ス
- 議員ハ第二項ノ決定又ハ前項ノ訴願ノ裁決アル迄ハ會議ニ列席シ諸事ニ參與スルノ權ヲ失ハス
- 第二十四條 本令ニ規定スルモノノ外議員ノ定數、資格、任期、選定及選舉ニ關スル事項ハ規約ノ定ムル所ニ依ル
- 第二十五條 組合會ノ議決スヘキ事項左ノ如シ
- 一 收入支出ノ豫算
 - 二 事業報告及決算
 - 三 收入支出豫算ヲ以テ定ムルモノノ外新ナル義務ノ負擔又ハ權利ノ拋棄
 - 四 準備金ノ管理方法
 - 五 準備金其ノ他重要ナル財産ノ處分
 - 六 組合債
 - 七 規約ノ變更
 - 八 保險料率
 - 九 訴願訴訟ノ提起及和解
 - 十 其ノ他重要ナル事項
- 第二十六條 組合員ハ組合ノ事務ニ關スル書類ヲ檢閲シ理事ノ報告ヲ請求シ又ハ事務ノ管理、議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得
- 組合員ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ前項ノ組合會ノ權限ニ屬ス

ル事項ヲ行ハシムルコトヲ得

第二十七條 組合會ハ理事之ヲ招集ス

議員定數ノ三分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ組合會招集ノ請求ヲ爲シタルトキハ理事ハ七日以内ニ之ヲ招集スヘシ

組合會ノ招集ハ會議ノ目的タル事項ヲ示シ急施ヲ要スル場合ヲ除クノ外開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ爲スヘシ
前二項ノ期間ニ付テハ規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得
組合會開會中急施ヲ要スル事項アルトキハ理事ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

組合會ハ理事之ヲ開閉ス

第二十八條 組合會ノ議長ハ理事長ヲ以テ之ニ充ツ

理事長故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ行フ
決算ノ認定ニ關スル會議ノ議長ハ前二項ノ規定ニ拘ラス理事以外ノ出席議員中ヨリ互選セラレタル者ヲ以テ之ニ充ツ
議長ハ會議ヲ總理シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第二十九條 組合會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ第三十二條ノ除外ノ爲半數ニ滿テ

サルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十條 組合會ノ議事ハ出席議員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可
否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十一條 規約變更ノ議事ハ議員定數ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ之ヲ決ス

第三十二條 議長及議員ハ其ノ一身上ニ關スル事項ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ組合會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第三十三條 議員ハ自ラ會議ニ出席シ表決ヲ爲スヘシ但シ病氣其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ會議ニ出席スルコト能ハザル議員ハ規約ノ定ムル所ニ豫メ書面ヲ以テ出席議員ニ委任シテ表決ヲ爲スコトヲ妨ケス此ノ場合ニ於テハ之ヲ會議ニ出席シタルモノト看做ス

第三十四條 組合員ハ規約ニ定ムル特別ノ場合ヲ除クノ外組合會ノ會議ヲ傍聽スルコトヲ得

第三十五條 議員ハ其ノ職務ノ爲要スル旅費ノ支給ヲ組合ヨリ受クルコトヲ得
被保險者タル議員其ノ職務ヲ行フニ因リ平常ノ業務ニ對スル報酬ヲ受クルコトヲ得サル場合ニ於テハ其ノ補償ヲ組合ヨリ受クルコトヲ得
第一項ノ旅費及前項ノ補償ノ額及支給方法ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第三節 組合ノ役員

第三十六條 組合ニ理事ヲ置ク
理事ノ定數ハ四人以上ノ偶數トシ其ノ半數ハ事業主ノ選定シ

タル議員ニ於テ他ノ半數ハ被保險者タル組合員ノ互選シタル議員ニ於テ之ヲ互選ス

理事ノ中一人ヲ理事長トシ事業主ノ選定シタル議員タル理事中ニ就キ之ヲ選舉ス

第三十七條 理事長ハ組合ヲ代表ス

理事長故障アルトキハ規約ノ定ムル所ニ依リ他ノ理事其ノ職務ヲ代理ス

第三十八條 組合ノ事務ハ規約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外理事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可
否同數ナルトキハ理事長ノ決スル所ニ依ル

第三十九條 組合會成立セス又ハ其ノ議決スヘキ事項ヲ議決セサルトキハ理事ハ監督官廳ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事項ヲ處置スルコトヲ得

第四十條 組合會ニ於テ議決スヘキ事項ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ組合會成立セサルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナキトキハ理事之ヲ專決スルコトヲ得

第四十一條 前二條ノ規定ニ依リ處置ヲ爲シタルトキハ理事ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ組合會ニ報告スヘシ

第四十二條 規約變更ノ認可アリタルトキハ理事ハ遲滯ナク之ヲ公示スベシ

第四十三條 理事ハ規約、財産目錄、事業報告書、組合原簿及

組合會ノ會議録ヲ事務所ニ備フベシ

組合員前項ノ書類ノ閱覽ヲ求メタルトキハ理事ハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第四十三條 第二十一條、第二十四條及第三十五條ノ規定ハ理事及理事長ニ之ヲ準用ス

第四節 組合ノ財務

第四十四條 組合ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第四十五條 組合ハ毎會計年度收入支出ノ豫算ヲ調整シ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ豫算ヲ更正又ハ追加シタルトキ亦同シ
豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ス
豫算ニ定メタル各項ノ金額ハ組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得

第四十六條 組合ハ組合會ノ議決ヲ經テ繼續費ヲ設クルコトヲ得

第四十七條 組合ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ

豫備費ハ規約ヲ以テ定メタル費途以外ノ費途ニ之ヲ充ツルコトヲ得ス

第四十八條 組合ニ於テ其ノ收入金ヲ收納スルハ翌年度五月三十一日、其ノ支出金ヲ支拂フハ翌年度四月十五日限リトシ其ノ出納ヲ閉鎖ス

第四十九條 組合ハ保險料率ヲ變更セムトスルトキハ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第五十條 組合ハ少クモ保險給付ニ要シタル費用ノ前三年度(既往ノ年度三年未滿ナルトキハ既往年度)ノ平均年額ニ相當スル額ニ達スル迄毎年度ノ剩餘金中ヨリ該平均年額ノ百分ノ五以上ニ相當スル額(剩餘金ガ該平均年額ノ百分ノ五ニ達セサルトキハ其ノ全額)ヲ準備金トシテ積立ツヘシ
前項ノ限度内ノ準備金ハ保險給付ニ要スル費用ニ不足ヲ生シタルトキニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第五十一條 (削除)

第五十二條 準備金其ノ他財産ノ管理方法ノ要綱ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第五十三條 組合ハ支拂上現金ニ不足ヲ生ジタルトキハ準備金ニ屬スル現金ヲ繰替使用シ又ハ一時借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ繰替使用シタル金額及前項ノ一時借入金ハ當該會計年度内ニ之ヲ返還スベシ

第五十四條 組合ハ組合債ヲ起シ、起債ノ方法、利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ變更セムトスルトキハ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第五十五條 組合ハ重要ナル財産ノ處分ヲ爲サムトスルトキハ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ規定ニ依リ承継スル權利義務ノ限度ハ分割ノ議決ト共ニ之ヲ議決シ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六十二條 組合ノ合併又ハ分割ノ認可ヲ爲シタルトキハ厚生大臣ハ合併又ハ分割ニ因リテ成立又ハ消滅シタル組合及合併又ハ分割後存続スル組合ニ付左ノ事項ヲ告示スヘシ

一 組合ノ名稱

二 事務所ノ所在地

三 組合ノ設立アル事業所ノ名稱及所在地

四 認可ノ年月日

第六十三條 第十六條乃至第十八條ノ規定ハ合併又ハ分割ニ因リテ成立シタル組合ニ付之ヲ準用ス

合併又ハ分割ノ際其ノ合併又ハ分割シタル組合ノ理事タリシ者カ合併又ハ分割ニ因リテ成立シタル組合ノ組合員タル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ事業主ノ行フヘキ職務ハ其ノ理事タリシ者之ヲ行フ

第六十四條 組合解散ヲ爲サムトスルトキハ組合會ニ於テ議員定數ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ之ヲ議決シ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六十五條 組合ハ被保險者タル組合員ナキニ至ルモ其ノ欠缺カ一時ナル場合ニ於テハ解散スルコトナシ

第六十六條 組合解散シタルトキハ厚生大臣ハ第六十二條ノ例ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第五節 組合ノ分合解散

第五十六條 組合合併又ハ分割ヲ爲サムトスルトキハ關係アル組合ノ組合會ニ於テ議員定數ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ之ヲ議決シ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ
前項ノ場合ニ於テ規約ノ變更ヲ要スルトキハ前項ノ議決ト共ニ之ヲ議決スヘシ

第五十七條 組合ノ分割ハ組合ノ設立アル事業所ノ一部ニ付之ヲ爲スコトヲ得ス

第五十八條 分割ヲ爲ス場合ニ於テハ分割後存続スル組合又ハ分割ニ因リテ成立スル組合ノ被保險者タル組合員ノ員數ハ常時三百人以上タルヘキコトヲ要ス

第五十九條 合併ニ因リテ成立スル組合ノ規約、保險料率及初年度ノ收入支出ノ豫算ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ定メ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六十條 分割ニ因リテ成立スル組合ノ規約、保險料率及初年度ノ收入支出ノ豫算ハ其ノ組合ノ組合員タルヘキ事業主之ヲ定メ厚生大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六十一條 合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ成立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承継ス
分割ニ因リテ成立シタル組合ハ分割ニ因リテ消滅シタル組合又ハ分割後存続スル組合ノ權利義務ノ一部ヲ承継ス

第六十七條 組合ノ設立アル事業所ヲ増減セムトスルトキハ編入又ハ削除セラルヘキ事業所ノ事業主ノ全部及其ノ事業所ニ使用セラルル被保險者ノ二分ノ一以上ノ同意アルコトヲ要ス

編入又ハ削除セラルヘキ事業所ニ以上アル場合ニ於テハ前項ノ被保險者ノ同意ハ各事業所ニ付之ヲ得ルコトヲ要ス

前二項ノ規定ニ於テ被保險者トアルハ健康保險法第十四條第一項又ハ第十五條ノ二第一項ノ規定ニ依リ認可ノ申請ト同時ニ事業所編入ニ關スル規約變更ノ認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルヘキ者トス

第六十八條 第五十七條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十九條 事業所ノ削除ヲ爲ス場合ニ於テハ削除後ニ於テモ組合ノ被保險者タル組合員ノ員數ハ常時三百人以上タルヘキコトヲ要ス

第七十條 組合カ第六十七條ノ同意ヲ求メムトスルトキハ事業所ノ編入ノ場合ニ在リテハ第十一條各號ニ掲タル事項ヲ記載シタル書面ヲ、事業所ノ削除ノ場合ニ在リテハ削除ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ編入又ハ削除ニ因リ組合員タル資格ヲ取得又ハ喪失スヘキ者ノ全部ニ送付スヘシ

第六節 組合ノ監督

第七十一條 厚生大臣ハ組合會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

組合會解散ノ場合ニ於テハ一月以内ニ議員ノ選定及選舉ヲ爲

スヘシ

第七十二條 健康保險法第三十九條ノ規定ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間組合ノ役員タルコトヲ得ス

第七十三條 第二十三條第三項、第三十九條、第四十五條第一項、第四十九條、第五十四條及第五十五條ニ於テ監督官廳トアルハ保險院長官トス

第七節 健康保險組合聯合會

第七十三條ノ二 健康保險組合聯合會(以下組合聯合會ト稱ス)ノ規約ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 組合聯合會ノ目的及事業
- 二 組合聯合會ノ名稱
- 三 事務所ノ所在地
- 四 加入及脱退ニ關スル事項
- 五 資産及會計ニ關スル事項
- 六 公示ノ方法
- 七 其ノ他組合聯合會ニ關シ重要ナル事項

第七十三條ノ三 組合聯合會ハ其ノ名稱中ニ健康保險組合聯合會ナル文字ヲ用フベシ

組合聯合會ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ健康保險組合聯合會ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第七十三條ノ四 組合聯合會設立ノ際ニ於テ定ムベキ初年度ノ

收入支出ノ豫算ハ組合聯合會ヲ設立セントマル組合共同シテ之ヲ定メ厚生大臣ノ認可ヲ受クベシ
前項ノ認可申請ハ組合聯合會設立ノ認可申請ト同時ニ之ヲ爲スベシ

第七十三條ノ五 組合聯合會ノ設立ニ要スル費用ハ組合聯合會ノ負擔トス

第七十三條ノ六 組合聯合會ニ總會、會長、副會長及理事ヲ置ク

總會ハ議長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス
議員ハ會員タル組合ノ理事長ニ於テ之ヲ互選ス但シ第七十三條ノ九ノ規定ニ依リ準用シタル第六十四條ノ規定ニ依リ解散ニ關スル議決ヲ爲ス總會ノ議員ハ會員タル組合ノ理事長ヲ以テ之ニ充ツ

會長及副會長ハ理事ニ於テ之ヲ互選ス

本令ニ規定スルモノノ外總會ノ組織及權限、議員ノ定數、資格、任期及選舉並ニ會長、副會長及理事ノ定數、資格、任期、選任及權限ニ關スル事項ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第七十三條ノ七 組合聯合會ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第七十三條ノ八 組合聯合會解散シタルトキハ理事清算人ト爲ル

前項ノ規定ニ依リテ清算人タル者ナキトキハ厚生大臣清算人ヲ選任ス清算人缺ケタルトキ亦同ジ

清算人ハ組合聯合會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

清算方法及財産處分ニ付テハ厚生大臣ノ認可ヲ受クベシ

厚生大臣必要アリト認ムルトキハ清算方法及財産處分ノ變更ヲ命ジ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第七十三條ノ九 第十五條、第十六條、第二十一條、第二十五條乃至第三十三條、第三十七條乃至第四十二條、第四十四條

乃至第四十八條、第五十四條、第五十五條、第六十四條、第六十六條、第七十一條第一項及第七十二條ノ規定ハ組合聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第十六條中事業主トアルハ理事トシ第二十五條乃至第三十條、第三十二條、第三十九條乃至第四十一條、第四十二條、第四十五條、第四十六條、第六十四條及第七十一條第一項中組合會トアルハ總會トシ第二十八條、第三十七條及第三十八條中理事長トアルハ會長トシ第四十二條中組合員トアルハ會員トシ第七十二條中健康保險法第三十九條トアルハ健康保險法第四十二條ノ二第五項ノ規定ニ依リ準用シタル同法第三十九條トス

前項ノ規定ニ依リ準用シタル第三十九條、第四十五條、第五十四條及第五十五條ニ於テ監督官廳トアルハ厚生大臣トス

第七十三條ノ十 第二十一條ノ規定ハ會長、副會長及理事ニ之ヲ準用ス

第七十三條ノ十一 本令ニ規定スルモノノ外組合聯合會ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十四條 健康保險法第四十三條ノ二ノ規定ニ依リ一部負擔金ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セザル場合左ノ如シ

- 一 業務上ノ事由ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合
- 二 特別ノ事由アル健康保險組合ガ厚生大臣ノ認可ヲ受ケ一部負擔金ノ支拂ヲ爲スコトヲ要セザルコトヲ規約ヲ以テ定メタル場合
- 三 其ノ他厚生大臣ノ定ムル場合

第七十五條 地方長官ハ道府縣醫師會長、道府縣齒科醫師會長又ハ道府縣藥劑師會長ノ意見ヲ聽キ保險醫又ハ保險藥劑師ヲ指定スベシ

保險醫又ハ保險藥劑師ガ療養ノ給付ヲ擔當スルノ責務ヲ怠リ其ノ他保險醫又ハ保險藥劑師トシテ不適當ト認ムベキ事由アルトキハ地方長官ハ前項ノ指定ヲ取消スコトヲ得

第七十六條 保險醫若ハ保險藥劑師又ハ之ヲ使用スル者ガ療養ノ給付ニ關シ保險者ニ請求スベキ費用ノ額ハ療養ニ要スル費用ヨリ一部負擔金ヲ控除シタル額トス但シ一部負擔金ノ支拂ヲ要セザル場合ニ於テハ療養ニ要スル費用トス

第七十六條 保險醫若ハ保險藥劑師又ハ之ヲ使用スル者ガ療養ノ給付ニ關シ保險者ニ請求スベキ費用ノ額ハ療養ニ要スル費用ヨリ一部負擔金ヲ控除シタル額トス但シ一部負擔金ノ支拂ヲ要セザル場合ニ於テハ療養ニ要スル費用トス

前項ノ療養ニ要スル費用ハ厚生大臣ノ定ムル所ニ保險者之ヲ算定ス

厚生大臣前項ノ規定ニ依リ之ヲ爲サントスルトキハ日本醫師會長、日本齒科醫師會長又ハ日本藥劑師會長ノ意見ヲ聽クベシ

第七十七條 左ノ場合ニ於テハ健康保險法第四十四條ノ規定ニ依リ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給スルコトヲ得

一 保險者ニ於テ療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナリト認メタルトキ

二 被保險者ガ保險者ノ承認ヲ受ケ保險醫及保險者ノ指定スル者以外ノ醫師又ハ齒科醫師ノ診療ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者ノ申請アリタルトキ

三 被保險者ガ緊急ノ場合ニ於テ保險醫及保險者ノ指定スル者以外ノ醫師、齒科醫師其ノ他ノ者ノ手當ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ被保險者ノ申請アリタルトキ

四 其ノ他厚生大臣ノ定ムル場合ニ於テ被保險者ノ申請アリタルトキ

第七十八條 前條ノ規定ニ依リ支給スル療養費ノ額ハ療養ニ要スル費用ヨリ其ノ十分ノ二ニ相當スル額ヲ控除シタル額ヲ標準トシテ保險者之ヲ定ム但シ一部負擔金ノ支拂ヲ要セザル場合ニ於テハ療養ニ要スル費用ヲ標準トシテ保險者之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テ療養費ノ額ハ現ニ要シタル費用ノ十分ノ八ニ相當スル額又ハ現ニ要シタル費用ヲ超ユルコトヲ得ズ

第一項ノ療養ニ要スル費用ノ算定ニ關シテハ第七十六條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

第七十八條ノ二 保險者ハ厚生大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ健康保險法第四十四條ノ二第一項ノ期間ヲ超エ通ジテ一年ニ至ル迄繼續シテ療養ノ給付ヲ爲スモノトス但シ其ノ保險給付ヲ始メタル日前三月以上引續キ被保險者タリシ者ニ限ル

第七十八條ノ三 健康保險法第四十五條ノ規定ニ依リ傷病手當金トシテ一日ニ付報酬日額ノ百分ノ五十二ニ相當スル金額ヲ受クル者ハ職員ニシテ疾病又ハ負傷ノ爲勞務ニ服スルコト能ハザル場合ニ於テ勞務ニ服スルコト能ハザルニ至リタル日ヨリ起算シ引續キ三月以上俸給又ハ給料ノ全額ヲ受クルコトヲ得ベキモノトス

第七十九條 病院又ハ診療所ニ收容シタル被保險者ニ對シ支給スベキ傷病手當金ハ専ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スル者ナキ場合ニ於テハ標準報酬日額ノ百分ノ二十二ニ相當スル金額トス

第七十九條ノ二 第七十八條ノ二ノ規定ハ健康保險法第四十七條第二項ノ規定ニ依リ傷病手當金ニ之ヲ準用ス

第七十九條ノ三 (削除)

第八十條 出産手當金ハ被保險者カ分娩ノ日前二十八日、分娩

日ノ以後四十二日以内ニ於テ勞務ニ服セザリシ期間之ヲ支給ス

分娩ノ日カ其ノ豫定日ヨリ後レタルトキハ保險者ハ前項ノ分娩ノ日前ノ期間ヲ七日以内延長スルコトヲ得

第八十一條 健康保險法第五十條ノ規定ニ依リ分娩ノ額ハ三十圓トス

第八十二條 分娩ニ關スル保險給付ハ分娩前一年内ニ於テ百八十日以上被保險者タリシ者ニ非サレハ之ヲ爲サス但シ九十日以上被保險者タリシ者ニ對シテハ分娩費ヲ支給ス

第八十三條 分娩ニ關シ産院又ハ病院若ハ診療所ニ收容シタル被保險者ニ對シ支給スベキ分娩費ノ額ハ十五圓トス

産院又ハ病院若ハ診療所ニ收容シタル被保險者ニ對シ支給スル出産手當金ニ付テハ第七十九條ノ規定ヲ準用ス

第八十四條 被保險者タリシ者分娩ニ關スル保險給付ヲ受クルニハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日後六月以内ニ分娩シタルコトヲ要ス

第八十四條ノ二 被保險者タリシ者ガ勅令ニ依リ組織セラレタル共済組合ノ組合員ト爲リタルトキハ健康保險法第五十七條ノ二ノ規定ニ依リ保險給付ヲ爲サズ

第八十五條 疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分娩シタル場合ニ於テ繼續シテ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコトヲ得ヘキ者ニ對シテ

前項ノ場合ニ於テ療養費ノ額ハ現ニ要シタル費用ノ十分ノ八ニ相當スル額又ハ現ニ要シタル費用ヲ超ユルコトヲ得ズ

第一項ノ療養ニ要スル費用ノ算定ニ關シテハ第七十六條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

第七十八條ノ二 保險者ハ厚生大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ健康保險法第四十四條ノ二第一項ノ期間ヲ超エ通ジテ一年ニ至ル迄繼續シテ療養ノ給付ヲ爲スモノトス但シ其ノ保險給付ヲ始メタル日前三月以上引續キ被保險者タリシ者ニ限ル

第七十八條ノ三 健康保險法第四十五條ノ規定ニ依リ傷病手當金トシテ一日ニ付報酬日額ノ百分ノ五十二ニ相當スル金額ヲ受クル者ハ職員ニシテ疾病又ハ負傷ノ爲勞務ニ服スルコト能ハザル場合ニ於テ勞務ニ服スルコト能ハザルニ至リタル日ヨリ起算シ引續キ三月以上俸給又ハ給料ノ全額ヲ受クルコトヲ得ベキモノトス

第七十九條 病院又ハ診療所ニ收容シタル被保險者ニ對シ支給スベキ傷病手當金ハ専ラ其ノ者ニ依リ生計ヲ維持スル者ナキ場合ニ於テハ標準報酬日額ノ百分ノ二十二ニ相當スル金額トス

第七十九條ノ二 第七十八條ノ二ノ規定ハ健康保險法第四十七條第二項ノ規定ニ依リ傷病手當金ニ之ヲ準用ス

第七十九條ノ三 (削除)

第八十條 出産手當金ハ被保險者カ分娩ノ日前二十八日、分娩

ハ之ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間傷病手當金又ハ出産手當金ヲ支給セス但シ其ノ受クルコトヲ得ヘキ報酬ノ額カ傷病手當金又ハ出産手當金ノ額ヨリ小ナルトキハ其ノ差額ヲ支給ス

第八十六條 前條ニ掲グル者其ノ受クルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ全部又ハ一部ニ付其ノ全額ヲ受クルコト能ハザリシトキハ

傷病手當金又ハ出産手當金ノ全額、其ノ一部ヲ受クルコト能ハザリシ場合ニ於テ受ケタル額カ傷病手當金又ハ出産手當金ノ額ヨリ小ナルトキハ其ノ額ト傷病手當金又ハ出産手當金トノ差額ヲ支給ス但シ前條但書ノ規定ニ依リ傷病手當金又ハ出産手當金ノ一部ヲ受ケタルトキハ其ノ額ヲ支給額ヨリ控除ス

第八十七條 第七十九條又ハ第八十三條第二項ノ規定ハ健康保險法第六十二條第二項ニ掲グル者ニ對シ支給スベキ傷病手當金又ハ出産手當金ニ之ヲ準用ス

第八十七條ノ二 健康保險法第一條第二項ノ保險給付ハ被扶養者ノ疾病又ハ負傷ノ療養ニ關シテハ家族療養費、被保險者ノ配偶者ノ分娩ニ關シテハ配偶者分娩費トス

第八十七條ノ三 家族療養費ハ被扶養者ガ命令ノ定ムル所ニ依リ保險醫及保險藥劑師並ニ保險者ノ指定スル者ノ中自己ノ選定シタル者ニ就キ受ケタル療養ニ要シタル費用ニ付之ヲ支給ス

被扶養者ガ前項ノ規定ニ依リ療養ヲ受クルコト困難ナル場合

又ハ被保險者ノ申請アリタル場合ニ於テ保險醫及保險者ノ指定スル者以外ノ醫師、齒科醫師其ノ他ノ者ニ就キ診療又ハ手當ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ家族療養費ヲ支給スルコトヲ得

健康保險法第四十三條ノ規定ハ前二項ノ家族療養費ノ支給ニ關シ之ヲ準用ス

第八十七條ノ四 家族療養費ノ額ハ療養ニ要スル費用ノ十分ノ五ニ相當スル額トス但シ現ニ要シタル費用ノ十分ノ五ニ相當スル額ヲ超ユルコトヲ得ズ

前項ノ療養ニ要スル費用ノ算定ニ關シテハ第七十六條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

第七十八條ノ二本文及健康保險法第四十四條ノ二ノ規定ハ家族療養費ヲ支給スベキ療養ノ期間ニ之ヲ準用ス

第八十七條ノ五 被扶養者ガ保險醫若ハ保險藥劑師又ハ保險者ノ指定スル者ニ就キ療養ヲ受ケタル場合ニ於テハ保險者ハ其ノ被扶養者ガ當該保險醫、保險藥劑師若ハ保險者ノ指定スル者又ハ之ヲ使用スル者ニ對シ支拂フベキ療養ニ要シタル費用ニ付家族療養費トシテ被保險者ニ對シ支給スベキ額ノ限度ニ於テ被保險者ニ代リ當該保險醫、保險藥劑師若ハ保險者ノ指定スル者又ハ之ヲ使用スル者ニ對シ之ヲ支拂フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ保險醫、保險藥劑師若ハ保險者ノ指定スル

者又ハ之ヲ使用スル者ニ對シ費用ヲ支拂ヒタル場合ニ於テハ其ノ限度ニ於テ被保險者ニ對シ家族療養費ヲ支給シタルモノト看做ス

第八十七條ノ六 保險醫及保險藥劑師ガ被扶養者ノ療養ヲ擔當スルニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十七條ノ七 配偶者分擔費ノ額ハ十圓トス

第八十七條ノ八 保險者ハ健康保險法第六十九條ノ三ノ規定ニ依リ哺育上ノ手當金ヲ支給其ノ他命令ヲ以テ定ムル給付ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル給付ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十八條 詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケムトシタル者ニ對シテハ保險者ハ六月以内ノ期間ヲ定メ其ノ者ニ支給スヘキ傷病手當金又ハ出産手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セサル旨ノ決定ヲ爲スコトヲ得但シ詐欺其ノ他不正ノ行爲アリタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ決定ハ保險者ニ於テ其ノ事實ヲ知リタルトキ遲滞ナク之ヲ爲シ本人ニ通知スヘシ

被保險者業務上ノ事由ニ因リ疾病ニ罹リ又ハ負傷シタル場合ニ於テハ第一項ノ規定ニ拘ラス傷病手當金ヲ支給ス

前項ノ給付ヲ爲シタル期間ハ第一項ノ六月ノ期間ノ計算ニ付テハ之ヲ算入セス

第八十九條 療養費、傷病手當金、出産手當金、埋葬費、分擔費、家族療養費及配偶者分擔費ハ其ノ都度之ヲ支給スベシ健康保險法第四十九條第二項又ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ニ付亦同ジ

傷病手當金及出産手當金ハ前項ノ規定ニ拘ラス毎月一定ノ期日ニ支給スルコトヲ得

第八十九條ノ二 (削除)

第五章 費用ノ負擔

第九十條 政府ノ管掌スル健康保險ニ關スル國庫負擔金ハ毎年度豫算ノ定ムル所ニ依ル但シ被保險者一人ニ付一年平均二圓ヲ割合ヲ超ユルコトヲ得ズ

第九十一條 健康保險組合ニ對スル國庫負擔金ハ其ノ健康保險組合ノ保險給付ニ要スル費用ノ十分ノ一トス

前項ノ規定ニ依ル國庫負擔金ノ總額ガ第七十八條ノ三ニ規定スル被保險者一人ニ付一年一圓ニ相當スル金額ト其ノ他ノ被保險者一人ニ付一年二圓ニ相當スル金額トノ合算額ヲ超ユル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依ル國庫負擔金ノ總額ハ其ノ限度ニ至ル迄之ヲ減額スルモノトス

前項ノ場合ニ於テ各健康保險組合ニ對スル國庫負擔金ノ額ハ

第一項ノ規定ニ拘ラス前項ノ國庫負擔金ノ總額ノ限度ニ於テ各健康保險組合ノ保險給付ニ要スル費用ノ額ニ應ジ厚生大臣之ヲ定ム

第九十二條 前條第一項ノ規定ニ依ル國庫負擔金算定ノ基礎タル保險給付ニ要スル費用ノ額ハ療養ノ給付及分擔ニ關スル產院、病院又ハ診療所ヘノ收容ニ直接要シタル金額並ニ傷病手當金、出産手當金、分擔費、埋葬料、療養費、家族療養費、配偶者分擔費及健康保險法第四十九條第二項又ハ第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給額ノ合算額(同法第四十八條ノ規定ニ依ル療養ノ給付ニ直接要シタル金額及同法第五十九條第一項ノ規定ニ依ル傷病手當金又ハ出産手當金ノ支給額ヲ除ク)ヨリ此ノ合算額ノ被保險者一人當金額ニ同法第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ノ員數ヲ乗ジタル額ヲ控除シタル額トシ毎年度之ヲ計算ス

前項ノ療養ノ給付又ハ分擔ニ關スル產院、病院若ハ診療所ヘノ收容ニ要シタル器具、機械、建築物其ノ他ノ施設ニシテ其ノ效用二年以上ニ亘ルモノニ付テハ之ニ要シタル費用ヲ其ノ施設ノ豫定使用年數ニ應ジ各年均等ニ分割シテ之ヲ計算ス

第九十三條 第九十條ニ規定スル被保險者ノ員數ハ其ノ年度内ノ各月末ニ於ケル被保險者ノ員數ヨリ其ノ年度内ノ各月末ニ於ケル健康保險法第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ノ員數

ヲ除キタル員數ノ平均數トス

第九十一條第二項ニ規定スル被保險者ノ員數ハ第七十八條ノ三ニ規定スル被保險者ト其ノ他ノ被保險者トニ付各別ニ其ノ年度内ノ各月末ニ於ケル被保險者ノ員數ヨリ其ノ年度内ノ各月末ニ於ケル健康保險法第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ノ員數ヲ除キタル員數ノ各平均數トス

前條第一項ノ規定ニ依ル被保險者一人當金額ヲ算出スル場合ノ被保險者ノ員數ハ其ノ年度内ノ各月末ニ於ケル被保險者ノ員數ノ平均數トス

第九十三條ノ二 健康保險組合ニ對シ交付スル國庫負擔金ニ付テハ概算拂ヲ爲スコトヲ得
前項ノ概算拂ニ關シ必要ナル事項ハ厚生大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ムベシ

第九十四條 保險料額ハ各月ニ付被保險者ノ標準報酬月額ニ保險料率ヲ乘ジテ得タル額トス但シ被保險者ノ資格ヲ取得シタル日ガ十六日以後ナル場合又ハ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日ガ二日以後十六日以前ナル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料額ハ之ヲ半額トス

第九十六條 性質上事故多キ業務ニ使用セララル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ厚生大臣ハ事業主ノ負擔スヘキ割合ヲ保險料額ノ三分ノ二迄増加スルコトヲ得

第九十七條 標準報酬ノ等級ガ第一級ニ該當スル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主ノ負擔額ハ標準報酬ノ等級ガ第二級ニ該當スル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ事業主ノ負擔スベキ額ト同額トス但シ其ノ額ガ保險料ノ全額ヲ超過スル場合ニ於テハ事業主ノ負擔額ハ保險料ノ全額トス

第九十七條ノ二 被保險者ガ健康保險法第六十二條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ其ノ日ガ其ノ屬スル月ノ全日數ニ互ル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料額ノ全額ヲ、其ノ屬スル月ノ全日數ニ互ラザルモ十五日以上ナル場合ニ於テハ其ノ月分ノ保險料額ノ半額ヲ徵收セズ

被保險者ノ資格ノ取得又ハ喪失アリタル月ニ於テ被保險者ガ健康保險法第六十二條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ月ニ於ケル被保險者タル日數(同法同條同項各號ノ一ニ該當スル日數ヲ除ク)ガ十五日以内ナルトキハ其ノ月分ノ保險料額ノ半額ヲ、其ノ日數ナキトキハ全額ヲ徵收セズ

第九十八條 事業主ハ被保險者ニ對シ金錢ヲ以テ報酬ヲ支拂フ場合ニ於テハ被保險者ノ負擔スヘキ前月分ノ保險料ヲ報酬ヨリ控除スルコトヲ得

被保險者ノ資格ヲ取得シタル月ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラズ其ノ間ニ於ケル保險料額ハ被保險者タリシ日數ガ十六日以上ナルトキハ其ノ月分ノ保險料額ノ全額十五日以内ナルトキハ其ノ半額トス

第九十四條ノ二 健康保險法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ關スル保險料ハ其ノ被保險者ト爲リタル日ガ十七日以後ナルトキハ其ノ翌月ヨリ、十六日以前ナルトキハ其ノ月ヨリ之ヲ算定ス

前項ノ場合ニ於テ毎月ノ保險料ノ算定方法ハ前條ノ例ニ依ル但シ前項後段ノ場合ニ於テ被保險者ト爲リタル日ガ二日以後十六日以前ナルトキハ其ノ月分ノ保險料額ハ保險料月額ノ半額トス

第九十四條ノ三 前條ノ規定ハ第七十八條ノ三ニ規定スル被保險者ガ同條ニ規定スル被保險者以外ノ被保險者ト爲リタルトキ又ハ同條ニ規定スル被保險者以外ノ被保險者ガ同條ニ規定スル被保險者ト爲リタルトキニ於ケル保險料ノ算定ニ之ヲ準用ス

第九十五條 保險料率ハ保險者之ヲ定ム
保險料率ハ各被保險者ニ付同一ナルコトヲ要ス但シ第七十八條ノ三ニ規定スル被保險者又ハ性質上事故多キ業務ニ使用セララル被保險者ニ付テハ異ナル保險料率ヲ定ムルコトヲ得

第九十九條 事業主ハ被保險者ノ控除ニ關スル計算書ヲ作製シ被保險者ノ請求ニ應ジテ閱覽セシムヘシ

第一百條 毎月ノ保險料ハ翌月末日迄ニ之ヲ納付スヘシ
被保險者保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告知シタル保險料額カ當該納付義務者ノ納付スヘキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知リタルトキハ其ノ超過部分ニ對スル納入ノ告知ハ其ノ告知ヲ爲シタル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルヘキ保險料ニ對シ之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ納入ノ告知ヲ爲シタルモノト看做シタルトキハ保險者ハ其ノ旨ヲ當該納付義務者ニ通知スヘシ
保險者カ保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告知シタル保險料額カ當該納付義務者ノ納付スヘキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知リタルトキ又ハ納付シタル保險料額カ當該納付義務者ノ納付スヘキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知リタルトキハ其ノ超過部分ニ對スル納入ノ告知又ハ納付ヲ爲シタル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルヘキ保險料ニ對シ納期ヲ繰上ケ之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ納期ヲ繰上ケ納入ノ告知又ハ納付ヲ爲シタル

事業主ハ被保險者カ其ノ事業ニ使用セラレサルニ至リタルトキニ限り前項ノ規定ニ拘ラズ報酬支拂ノ際ニ於テ被保險者ノ負擔スヘキ前月分及其ノ月分ノ保險料ヲ控除スルコトヲ得

ルモノト看做シタルトキハ保險者ハ其ノ旨ヲ當該納付義務者ニ通知スヘシ

百一條 健康保險組合ハ第九十八條又ハ前條ノ規定ニ拘ラス規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第百一條ノ二 保險料納付義務者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ納期前ト雖モ保險料ハ總テ之ヲ徵收スルコトヲ得

一 國稅、府縣稅其ノ他ノ公課ノ滯納ニ因リ滯納處分ヲ受クルトキ

二 被保險者ノ使用セラルル事業所ヲ廢止シタルトキ

三 強制執行ヲ受クルトキ

四 破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ

五 競賣ノ開始アリタルトキ

六 法人カ解散ヲ爲シタルトキ

附則

本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際ニ限リ第四條第一項但書中資格ヲ取消シタル日ノ現在トアルハ大正十五年十一月一日ノ現在トス但シ大正十五年十一月二日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附則 (昭和十五年六月勅令第三七三號)

此ノ場合ニ於テ其ノ者ハ第四條第一項ノ改正規定ノ適用ニ付本令施行ノ日ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタルモノト看做ス
前項ノ規定ニ依リ標準報酬ヲ定ムル場合ニ於テハ第五條第三號ノ改正規定中一月間トアルハ三月間トシ報酬ノ額トアルハ報酬ノ額ノ三分ノ一トス

本令施行後昭和十七年三月三十一日迄ノ間ニ被保險者ノ資格ヲ取得シ同年四月一日迄引續キ被保險者ノ資格ヲ有スル者ノ標準報酬ニシテ同年四月一日以後效力ヲ有スルモノハ第三條乃至第五條ノ改正規定ニ依ル

準備金ノ管理方法ニシテ本令施行前監督官廳ノ認可ヲ受ケタルモノハ第五十二條ノ改正規定ニ依リ規約ヲ以テ定メタルモノト看做ス

附則 (昭和十七年三月勅令第七十六號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和十七年三月勅令第二百九十一號)

本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (昭和十七年十二月勅令第八百二十六號)

本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和十七年法律第三十八號中第一條第二項、第十三條及第四十五條ノ改正規定並ニ第十三條ノ二、第四十三條ノ三乃至第四十三條ノ五及第五十九條ノ二ノ規定實施ノ爲ニ盡メ必要ナル範圍内ニ於テハ昭和

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第七十九條ノ二、第七十九條ノ三及第八十七條ノ二乃至第八十七條ノ四ノ規定並ニ第八十九條ノ二ノ規定中第七十九條ノ三及第八十七條ノ二ノ規定ニ關スル部分ハ昭和十四年法律第七十四號中第一條第二項、第七條第二項、第四十七條第二項第三項、第六十二條第四項及第六十九條ノ二ノ規定並ニ第七十六條ノ改正規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ第四條第一項ノ規定ニ依リ昭和十四年六月一日現在ニ依リ定メタル標準報酬又ハ同日以後ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタル際ニ定メタル標準報酬ハ昭和十五年七月三十一日迄其ノ效力ヲ有ス

附則 (昭和十七年一月勅令第三十五號)

本令ハ昭和十七年二月一日ヨリ之ヲ施行ス
昭和十六年勅令第六百十四號ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ被保險者ノ資格ヲ有スル者及本令施行後昭和十七年三月三十一日迄ノ間ニ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ノ標準報酬ニシテ同期間内ニ於テ效力ヲ有スルモノハ從前ノ規定ニ依ルモノトス

本令施行ノ際現ニ被保險者ノ資格ヲ有シ昭和十七年四月一日迄引續キ被保險者ノ資格ヲ有スル者ノ標準報酬ニシテ同年同月同日以後效力ヲ有スルモノハ第三條乃至第五條ノ改正規定ニ依ル

十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

職員健康保險法施行令ハ之ヲ廢止ス

前項ノ規定施行前ノ職員健康保險ノ保險給付及保險料其ノ他ノ徵收金ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第二項ノ規定施行ノ際現ニ職員健康保險ノ被保險者タリシ者ニシテ引續キ健康保險ノ被保險者ト爲リタルモノニ付テハ職員健康保險法ニ基キ其ノ者ニ付定メタル標準報酬ヲ以テ其ノ者ノ健康保險法ニ基キ定メタル標準報酬トス但シ同項ノ規定施行ノ月ヨリ職員健康保險法施行令第四條第二項ノ規定ニ依リ其ノ者ノ標準報酬ヲ變更スベカリシ場合ニ在リテハ同月ヨリ第四條第二項ノ規定ニ準ジ其ノ者ノ標準報酬ヲ變更ス

第二項ノ規定施行前職員健康保險ノ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニシテ昭和十七年法律第三十八號附則第七項ニ依リ健康保險ノ保險給付ヲ受クルモノノ保險給付ニ關シテハ其ノ資格喪失ノ際ニ於ケル標準報酬ニ依ル

第二項ノ規定施行前職員健康保險法及職員健康保險法施行令ニ基キテ爲シタル命令又ハ處分ハ健康保險法及健康保險法施行令中ノ相當規定ニ基キテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第二項ノ規定施行前職員健康保險法及職員健康保險法施行令ニ基キテ爲シタル申請ハ健康保險法及健康保險法施行令中ノ相當規定ニ基キテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

前五項ニ定ムルモノノ外第二項ノ規定施行ノ際必要ナル事項ハ厚生大臣之ヲ定ム

健康保險法施行規則 (大正十五年七月一日) (内務省令第三六號)

〔沿革〕昭和二年十月内務省令第四〇號 昭和三年四月内務省令第一二號 昭和四年六月内務省令第一八號 昭和四年七月内務省令第二九號 昭和九年十二月内務省令第三九號 昭和十年五月内務省令第二九號 昭和十三年十一月厚生省令第三〇號 昭和十五年五月厚生省令第一九號 昭和十六年七月厚生省令第三二號 昭和十七年一月厚生省令第五號 昭和十七年三月厚生省令第二〇號 昭和十七年十一月厚生省令第五〇號 昭和十七年十二月厚生省令第五九號

第一章 總 則

第一條 政府ノ管掌スル保險ハ健康保險法(以下法ト稱ス)第十三條、法第十五條又ハ法第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ其ノ被保險者ノ使用セラルル事業所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ)ニ於テ、法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ニ付テハ其ノ被保險者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ニ於テ之ヲ掌ル

第二條 第一項及第二項ヲ左ノ如ク改ム

被保險者ガ同時ニ二以上ノ事業所ニ使用セラルル場合ニ於テ保險者ガ二以上アルトキ又ハ其ノ使用セラルル事業所ガ異リタル道府縣ニ在ルトキハ被保險者ハ其ノ保險ヲ掌ルベキ地方長官又ハ健康保險組合(以下組合ト稱ス)ヲ定メ其ノ旨ヲ其ノ地方長官又ハ組合ニ届出ヅベシ

地方長官又ハ組合ハ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ關係アル地方長官又ハ組合ニ之ヲ通知スヘシ

第一項ノ被保險者ガ労働者年金保險ノ被保險者ナル場合ニ於テハ同項ノ届書ニ労働者年金保險ノ被保險者臺帳ノ記號及番號ヲ附記スヘシ

被保險者ガ労働者年金保險ノ被保險者ナル場合ニ於テ地方長官ニ對シ労働者年金保險法施行規則第二條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルトキハ併セテ第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルモノト看做ス

第三條 事業主ハ健康保險法施行令(以下令ト稱ス)第四條第二項ノ規定ニ依リ被保險者ノ標準報酬ノ變更ヲ要スルニ至リタルトキハ遲滞ナク様式第一號ニ依ル届書ヲ地方長官又ハ組合ニ提出スヘシ但シ政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者(以下政府管掌被保險者ト稱ス)ニシテ労働者年金保險ノ被保險者タル者ニ關シテハ様式第一號ノ二ニ依ル届書(正副二通)ヲ提出スヘシ

第四條 地方長官又ハ組合ハ事業主ヲシテ地方長官又ハ組合ノ定ムル日ノ現在ニ於ケル被保險者ノ報酬月額算定ノ基礎ノ届出ヲ爲サシムルコトヲ得

事業主ハ前項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲ス場合ニ於テハ様式第一號ニ依ル届書ヲ前項ニ定ムル日ヨリ十日以内ニ地方長官又ハ組合ニ提出スヘシ但シ政府管掌被保險者ニシテ労働者年金保險ノ被保險者タル者ニ關シテハ様式第一號ノ二ニ依ル届書(正副二通)ヲ提出スヘシ

第五條 前二條又ハ第十條第一項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ地方長官又ハ組合ハ被保險者ノ標準報酬ヲ決定シ遲滞ナク之ヲ事業主ニ通知スヘシ標準報酬ヲ變更シタルトキ亦同シ事業主前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ被保險者ニ告知スヘシ

第五條ノ二 組合ハ保險料其ノ他法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ徵收セントストキハ徵收スヘキ金額ヲ決定シタル上納付義務者ニ對シ其ノ徵收金ノ種類並ニ納付スヘキ金額、期日及場所ヲ記載シタル書面ヲ以テ納入ノ告知ヲ爲スヘシ但シ即納セシムル場合ニ於テハ口頭ヲ以テ納入ノ告知ヲ爲スコトヲ得

第六條 法第九條ノ規定ニ依ル質問又ハ検査ヲ爲ス場合ニ於テハ當該官吏ハ様式第二號ニ依ル證票ヲ携帯スヘシ

第六條ノ二 法第九條ノ二ノ規定ニ依リ診療録ノ検査ヲ爲ス場

合ニ於テハ當該官吏ハ様式第二號ノ二ニ依ル證票ヲ携帯スベシ

第六條ノ三 法第十條ノ規定ニ依リ左ニ掲グル職權ヲ地方長官ニ委任ス

一 法第十四條第一項、法第十五條ノ二第一項及法第十九條第一項ノ規定ニ依ル職權(組合ノ設立、解散又ハ規約ノ變更ヲ伴フ場合ヲ除ク)

二 法第三十七條ノ規定ニ依ル職權中組合ニ對シ事實ニ關スル報告ヲ爲サシメ事業及財産ノ狀況ヲ検査スル職權及法第三十八條ノ規定ニ依ル職權(組合ガ二以上ノ道府縣ニ跨ル場合ヲ除ク)

第六條ノ四 令第五條ノ二ノ規定ニ依リ發スル督促狀ハ様式第二號ノ三ニ依ル

第六條ノ五 廳府縣(東京府ヲ除ク以下同ジ)ノ官吏ガ滞納處分ノ爲財産ノ差押ヲ爲ス場合ニ於テ示スベキ其ノ命令ヲ受ケタル官吏タルノ證票ハ様式第三號ニ依ル

第六條ノ六 法第十一條ノ四ノ規定ニ依ル公告ハ道府縣廳(東京府ニ在リテハ警視廳以下同ジ)、廳府縣保險出張所(以下出張所ト稱ス)又ハ組合ノ事務所ニ之ヲ爲スベシ

第六條ノ七 道府縣廳ニハ其ノ管轄區域内ニ事務所(事務所ニ以上アル場合ハ主たる事務所)ヲ有スル組合ニ付左ニ掲グル

事項ヲ記載シタル健康保險組合臺帳ヲ備フベシ

- 一 組合ノ名稱
 - 二 事務所ノ所在地
 - 三 組合ノ設立アル事業所ノ名稱及所在地
 - 四 設立認可ノ年月日
 - 五 理事長ノ氏名、住所及就職年月日
- 前項ノ健康保險組合臺帳ハ何人ト雖モ利害關係アル場合ニ於テハ其ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第六條ノ八 厚生省ニハ健康保險組合聯合會（以下組合聯合會ト稱ス）ニ付左ニ掲グル事項ヲ記載シタル健康保險組合聯合會臺帳ヲ備フ

- 一 組合聯合會ノ名稱
 - 二 事務所ノ所在地
 - 三 設立認可ノ年月日
 - 四 會長ノ氏名、住所及就職年月日
- 前條第二項ノ規定ハ健康保險組合聯合會臺帳ノ閱覽ニ之ヲ準用ス

第七條 令第九十九條ノ規定ニ依ル保險料ノ控除ニ關スル計算書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ事業所毎ニ之ヲ備フヘシ

- 一 被保險者ノ氏名
- 二 控除シタル保險料ノ金額

三 控除シタル年月日

第八條 事業主ハ健康保險ニ關スル書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ二年間保存スヘシ

- 第八條ノ二 第三條、第四條、第五條第二項、第十條、第十條ノ二、第十條ノ三、第十一條第二項、第十七條、第十九條、第二十條、第二十三條第三項及第五項、第二十三條ノ二第一項及第二項、第四十五條ノ二第三項、第五十三條第二項、第五十四條第二項、第五十六條第二項、第五十六條ノ二第二項、第五十七條第二項、第五十九條、第六十條、第六十二條第二項、第六十三條ノ二、第六十三條ノ三第二項及第三項、第六十三條ノ八第二項、第六十三條ノ九第二項、第六十三條ノ十、第六十三條ノ十一第二項、第六十三條ノ十二第二項、第六十三條ノ十四及第六十四條ノ規定ニ依リ事業主ノ爲スヘキ事項ニ付テハ事業主ハ豫メ代理人ヲ選任シ之ヲ處理セシムルコトヲ得
- 前項ノ規定ニ依リ事業主代理人ヲ選任シタルトキハ地方長官又ハ組合ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ
- 事業主カ地方長官ニ對シ勞働者年金保險法施行規則第七十六條第二項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルトキハ併セテ前項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルモノト看做ス
- 第八條ノ三 事業主又ハ被保險者カ地方長官又ハ組合ニ對シ届出、申請又ハ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ様式ノ定アルモノヲ除

キ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ届書、申請書又ハ請求書ニ添付スヘキ書類ハ届出、申請又ハ請求ノ際之ヲ提出スヘシ但シ地方長官又ハ組合ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

口頭ヲ以テ届出、申請又ハ請求シタルモノアル場合ニ於テ地方長官又ハ組合必要アリト認ムルトキハ其ノ届出、申請又ハ請求ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ作成シ讀聞カゼタル上之ニ記名調印セシムヘシ

第九條 事業主カ厚生大臣ニ提出スヘキ書類ハ其ノ事業所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

組合カ厚生大臣ニ提出スヘキ書類ハ其ノ事務所（事務所二以上アル場合ハ主タル事務所）ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

第九條ノ二 法第二十三條ノ二第二項ノ規定ニ依ル利用料ニ關スル事項ハ保險者之ヲ定ム

保險者カ組合ナル場合ニ於テハ前項ノ利用料ニ關スル事項ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二章 被保險者

第十條 法第十三條、法第十五條又ハ法第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ事業主ハ様式第四號ニ依リ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

但シ政府管掌被保險者ノ資格ヲ取得スルト同時ニ勞働者年金保險ノ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ニ關シテハ様式第四號ノ二ニ依ル届書（正副二通）ヲ提出スヘシ

法第十三條、法第十五條又ハ法第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ事業主ハ様式第五號ニ依リ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ但シ政府管掌被保險者ノ資格ヲ喪失スルト同時ニ勞働者年金保險ノ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニ關シテハ様式第五號ノ二ニ依ル届書（正副二通）ヲ提出スヘシ

第十條ノ二 法第十三條又ハ法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者カ法第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキハ事業主ハ左ニ掲グル事項ヲ五日以内ニ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ法第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者カ法第十三條又ハ法第十五條ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキ亦同シ

- 一 事業所ノ名稱
- 二 被保險者ノ氏名
- 三 被保險者證ノ記號及番號
- 四 變更ノ事項及年月日

第十條ノ三 令第七十八條ノ三ニ規定スル被保險者カ同條ニ規定スル被保險者以外ノ被保險者ト爲リタルトキ又ハ同條ニ規定スル被保險者以外ノ被保險者カ同條ニ規定スル被保險者ト

爲リタルトキハ事業主ハ左ニ掲クル事項ヲ五日以内ニ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

一 事業所ノ名稱

二 被保險者ノ氏名

三 被保險者證ノ記號及番號

四 變更ノ事項及年月日

第十一條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者ハ法第十三條、法第十五條又ハ法第十五條ノ二ノ規定ニ依ル被保險者ト爲リタルトキハ其ノ被保險者ト爲リタル際其ノ旨ヲ事業主ニ申出ツヘシ

前項ノ規定ニ依ル申出又ハ労働者年金保險法施行規則第四條ノ規定ニ依ル申出ヲ爲シタル被保險者ニ付テハ事業主ハ第十條第一項ノ届書ニ其ノ申出アリタル事項ヲ附記スヘシ

第十二條 被保險者同時ニ二以上ノ事務所ニ使用セラルトキハ其ノ各義務ニ付左ニ掲クル事項ヲ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

一 事業主ノ氏名及住所

二 事業所ノ名稱及所在地

前項ノ被保險者カ労働者年金保險ノ被保險者ナル場合ニ於テハ同項ノ届書ニ左ニ掲クル事項ヲ附記スヘシ

一 労働者年金保險ノ被保險者臺帳ノ記號及番號

二 各義務ニ付當該被保險者ノ使用セラルル事業所カ労働者年金保險法第十六條ノ事業所ニ該當スルコトノ有無

第十二條ノ二 令第九條ノ四第四號ノ規定ニ依リ季節的業務ニ使用セラルル者ハ被保險者トセス但シ繼續シテ四月ヲ超エ使用セラルヘキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條ノ三 令第九條ノ五第三號ノ規定ニ依リ左ノ者ヲ指定ス

一 國民健康保險組合又ハ國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人ノ事務所ニ使用セラルル者

二 臨時的の事業ノ事業所ニ使用セラルル者但シ繼續シテ六月ヲ超エ使用セラルヘキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

三 生命保險會社ニ使用セラルル者ニシテ保險契約者ノ募集勸誘ニ從事スルモノ但シ六月ヲ超エテ引續キ使用セラルルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條、法第十四條第一項ノ認可申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ同條第二項ノ規定ニ依ル同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類ヲ添附スヘシ

一 事業ノ名稱及種類

二 事業所ノ名稱及所在地

三 被保險者ト爲ルヘキ者ノ員數

法第十四條第一項ノ認可ノ申請ト同時ニ其ノ事業所ニ付組合

ノ設立又ハ事業所ノ編入ニ關スル規約變更ノ認可申請アル場合ニ於テハ前項ノ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第十三條ノ二 前條ノ規定ハ法第十五條ノ二第一項ノ規定ニ依リ認可申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第十四條 法第十九條第一項ノ認可申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ同條第二項ノ規定ニ依ル同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類ヲ添附スヘシ

一 事業ノ名稱及種類

二 事業所ノ名稱、所在地及被保險者證ノ記號

三 被保險者ノ員數

四 組合ノ設立アル場合ニ於テハ其ノ組合ノ名稱及所在地並其ノ組合カ解散スヘキモノナルトキハ其ノ旨

第十五條 法第二十條ノ規定ニ依リ繼續シテ被保險者ト爲ルコトノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 住所

二 資格喪失ノ年月日

三 資格喪失ノ際使用セラレタル事業所ノ名稱及被保險者證ノ記號

四 資格喪失後繼續シテ保險給付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ給付ヲ受ケサルニ至リタル年月日

五 令第十條ノ期限經過後申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由

六 資格喪失ノ際屬シタル廳府縣(出張所ノ分掌ニ屬シタルトキハ其ノ出張所)又ハ組合ノ名稱

第十六條 令第十條ノ二第一號ノ猶豫期間ハ令第一百條ニ規定スル納付期日經過後十日トス

第十七條 被保險者法第六十二條第一項各號ノ一ニ該當シ又ハ該當セサルニ到リタルトキハ事業主ハ左ニ掲クル事項ヲ五日以内ニ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

一 被保險者ノ氏名

二 被保險者證ノ記號及番號

三 該當ノ事實及該當シ又ハ該當セサルニ至リタル年月日

法第二十條ノ規定ニ依ル被保險者又ハ被保險者ノ資格喪失後保險給付ヲ受ケタル者健康保險法第六十二條第一項各號ノ一ニ該當シ又ハ該當セサルニ至リタルトキハ其ノ者ニ於テ前項ノ例ニ依リ之ヲ届出ツヘシ

第十八條 事業主ニ變更アリタルトキハ事業主及事業主タリシ者連署ヲ以テ左ニ掲クル事項ヲ五日以内ニ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

一 事業ノ種類及新舊名稱

二 事業所ノ所在地及被保險者證ノ記號

三 變更ノ年月日及事由

四 事業主及事業主タリシ者ノ氏名及住所

五 労働者年金保険ノ被保険者ヲ使用スル事業所ニ在リテハ其ノ旨

第十九條 法第十三條ノ事業所ガ同條ノ規定ニ該當セサルニ至リタルトキハ事業主ハ左ニ掲クル事項ヲ五日以内ニ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

- 一 工場又ハ事業ノ名稱
- 二 被保険者證ノ記號

三 該當セサルニ至リタル年月日及事由

四 労働者年金保険法第十六條ノ事業所ニ在リテハ其ノ旨

第二十條 左ニ掲クル事項ニ變更アリタルトキハ事業主ハ變更ノ事項及年月日ヲ五日以内ニ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

- 一 事業ノ名稱又ハ種類
- 二 事業主ノ氏名又ハ住所
- 三 事業所ノ名稱又ハ所在地
- 四 被保険者ノ氏名

當該事業所ガ労働者年金保険法第十六條ノ事業所ニ該當スルモノナルトキハ事業主ハ其ノ旨ヲ前項ノ届書ニ附記スヘシ

被保険者ガ労働者年金保険ノ被保険者ナルトキハ事業主ハ第一項第四號ノ届書ニハ其ノ者ノ労働者年金保険ノ被保険者臺帳ノ記號及番號ヲ附記セヘシ

第二十一條 法第二十條ノ規定ニ依ル被保険者ハ其ノ氏名又ハ住所ヲ變更シタルトキハ新舊ノ氏名又ハ住所及變更ノ年月日ヲ五日以内ニ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

住所ヲ變更シタルトキハ新舊ノ氏名又ハ住所及變更ノ年月日ヲ五日以内ニ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

第二十二條 第十條第一項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ地方長官又ハ組合ハ其ノ被保険者ノ被保険者證ノ記號及番號ヲ遅滞ナク事業主ニ通知スヘシ其ノ記號及番號ヲ變更シタルトキ亦同シ

第二十三條 地方長官又ハ組合ハ様式第六號ニ依ル被保険者證ヲ被保険者ニ交付スヘシ

地方長官又ハ組合被保険者證ヲ交付セントスルトキハ之ヲ被保険者ヲ使用スル事業主ニ送付スヘシ但シ被保険者法第二十条ノ規定ニ依ル被保険者ナル場合ニ於テハ之ヲ被保険者ニ送付スヘシ

前項ノ規定ニ依ル被保険者證ノ送付アリタルトキハ事業主ハ遅滞ナク之ヲ被保険者ニ交付スヘシ

被保険者證ノ第一面ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ其ノ改訂ヲ受クル爲被保険者ハ遅滞ナク之ヲ事業主ニ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依ル被保険者證ノ提出アリタルトキハ事業主ハ遅滞ナク其ノ改訂ヲ爲シ被保険者ニ返付スヘシ

被保険者ノ氏名又ハ事業所ノ名稱若ハ所在地ニ變更アリタルトキハ被保険者證ノ改訂ヲ受クル爲被保険者ハ遅滞ナク之ヲ事業主ニ提出スヘシ被保険者證ノ記號又ハ番號ニ變更アリタルトキ亦同シ

ルトキ亦同シ

被保険者證ヲ滅失若ハ毀損シタルトキ又ハ被保険者證ニ餘白ナキニ至リタルトキハ被保険者ハ遅滞ナク被保険者證ヲ添ヘ(滅失ノ場合ヲ除ク)其ノ旨ヲ地方長官又ハ健康保険組合ニ届出ツヘシ

第二十三條ノ二 被保険者其ノ資格ヲ喪失シタルトキ又ハ其ノ資格ニ變更アリタルトキハ事業主ハ遅滞ナク被保険者證ヲ回收シ之ヲ地方長官又ハ組合ニ返納スヘシ但被保険者法第二十條ノ規定ニ依ル被保険者タル場合ニ於テハ其ノ者ニ於テ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ組合ニ返納スヘシ

被保険者ノ資格喪失ニ因リ事業主ノ返納スヘキ被保険者證ハ之ヲ資格喪失届ニ添付スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ資格喪失届ニ附記スヘシ

被保険者(法第二十條ノ規定ニ依ル被保険者ヲ除ク)其ノ資格ヲ喪失シタルトキ又ハ其ノ被保険者ニ變更アリタルトキハ其ノ被保険者證ヲ五日以内ニ事業主ニ提出スヘシ但シ資格喪失後引續キ保険給付ヲ受クル者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

被保険者ノ資格喪失後引續キ保険給付ヲ受クル者ハ第一項ノ規定ニ拘ラス其ノ給付ヲ受ケサルニ至リタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ地方長官又ハ組合ニ返納スヘシ

第一項ノ資格喪失ノ原因死亡ナルトキ又ハ第三項ノ規定ニ依リ被保険者證ヲ提出スヘキ者若ハ前項ノ規定ニ依リ被保険者證ヲ返納スヘキ者死亡シタルトキハ埋葬料又ハ法第四十九條第二項若ハ法第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給ヲ受クヘキ者ニ於テ其ノ請求ノ際被保険者證ヲ地方長官又ハ組合ニ返納スヘシ

第三章 健康保険組合及健康保険組合聯合會

第二十四條 組合設立ノ認可申請書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添付スヘシ但シ法第三十二條ノ規定ニ依リ組合設立ノ認可申請ヲ爲ス場合ニ於テハ第五號及第六號ノ書類ハ之ヲ添付スルコトヲ要セス

- 一 規約
- 二 事業計畫書
- 三 保険料率及其ノ計算ノ基礎ヲ示シタル書面
- 四 初年度ノ收入支出ノ豫算
- 五 令第十一條ノ書面ノ寫(被保険者ニ送付ノ年月日ヲ記載スルコト)
- 六 組合ノ設立ニ付法第二十九條第一項ノ同意アリタルコトヲ認ムルニ足ル書類

第二十五條 法又ハ之ニ基ク命令ノ規定ニ依リ組合ニ於テ監督官廳ノ認可ヲ受クヘキ事項カ組合會ノ議決ヲ經タルモノナル

トキハ申請書ニ其ノ會議録ノ寫ヲ添付スヘシ
認可申請ヲ爲スヘキ事項カ令第四十條ノ規定ニ依リ理事專決
シタルモノナルトキハ申請書ニ專決ノ理由ヲ記載シタル書面
ヲ添付スヘシ

第二十六條 組合合併ノ認可申請書ニハ合併スル各組合ノ名稱
及被保險者ノ員數並合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ成
立スル組合ノ名稱ヲ記載シ左ニ掲クル書類ヲ添付スヘシ

一 合併後ニ於ケル事業計畫書
二 認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調製シタル各組合ノ財
産目錄

三 合併ニ因リテ成立スル組合アル場合ニ於テハ其ノ組合ノ
規約、保険料率及其ノ計算ノ基礎ヲ示シタル書面並初年度
ノ收入支出ノ豫算

合併後存続スル組合アル場合ニ於テハ合併ニ伴フ規約變更ノ
認可申請ハ合併ノ認可申請ト同時ニ之ヲ爲スヘシ

第二十七條 組合分割ノ認可申請書ニハ分割スル組合、分割後
存続スル組合及分割ニ因リテ成立スル組合ノ名稱及被保險者
ノ員數ヲ記載シ左ニ掲クル書類ヲ添付スヘシ

一 分割後ニ於ケル各組合ノ事業計畫書
二 認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調製シタル分割スル組
合ノ財産目錄

三 分割ニ因リテ成立スル組合ノ承繼スル權利義務ノ限度ヲ
示シタル書面

四 分割ニ因リテ成立スル組合ノ規約、保険料率及其ノ計算
ノ基礎ヲ示シタル書面並初年度ノ收入支出ノ豫算

前條第二項ノ規定ハ分割後存続スル組合ノ分割ニ伴フ規約
變更ノ認可申請ニ之ヲ準用ス

第二十八條 組合解散ノ認可申請書ニハ解散スル組合ノ名稱及
被保險者ノ員數ヲ記載シ認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調
製シタル財産目錄ヲ添付スヘシ

第二十九條 被保險者タル組合員常時ナキニ至リタル爲組合解
散シタルトキハ其ノ事由、組合ノ名稱及解散ノ年月日ヲ理事
タリシ者ニ於テ遅滞ナク厚生大臣ニ届出ツヘシ

前項ノ届書ニハ解散ノ日ノ現在ニ依リ調製シタル財産目錄ヲ
添付スヘシ

第三十條 組合ノ設立アル事業所ノ編入又ハ削除ニ關スル規約
變更ノ認可申請書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添付スヘシ

一 規約變更後ニ於ケル事業計畫書
二 令第七十條ノ書面ノ寫(被保險者ニ送付ノ年月日ヲ記載
スルコト)
三 事業ノ編入又ハ削除ニ付令第六十七條第一項ノ同意アリ
タルコトヲ認ムルニ足ル書類

第三十一條 組合合併又ハ分割シタル場合ニ於テハ理事又ハ理
事タリシ者ハ其ノ組合員タリシ被保險者ノ保險ヲ管掌スル組
合ノ理事ニ對シ遅滞ナク其ノ事務ノ引繼ヲ爲スヘシ

事務引繼完了シタルトキハ引繼ヲ爲シタル者及引繼ヲ受ケタ
ル者連署ノ上完了ノ日ヨリ五日以内ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ届
出ツヘシ

第三十二條 前條ノ規定ハ組合解散シタル場合及組合其ノ組合
ノ設立アル事業所ヲ削除シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十三條 組合會ノ會議録ニハ議長及出席議員二人以上之ニ
署名スヘシ

第三十四條 收入支出ノ豫算ハ様式第七號ニ依リ之ヲ調製シ毎
年二月末日迄ニ認可申請ヲ爲スヘシ

第三十五條 保険料率ノ認可申請書ニハ計算ノ基礎ヲ示シタル
書面ヲ添付スヘシ

第三十六條 決算ハ様式第七號ニ依リ、事業報告ハ様式第八號
ニ依リ之ヲ調製シ年度經過後四月以内ニ組合會ノ認定ニ付ス
ヘシ

決算及事業報告ハ組合會ノ認定ヲ經タル後遅滞ナク之ヲ地方
長官ニ届出ツヘシ
前二項ノ規定ニ依リ事業報告ヲ組合會ノ認定ニ付シ又ハ地方
長官ニ届出ツル場合ニ於テハ之ニ年度末現在ニ依リ調製シタ

ル財産目錄ヲ添付スヘシ

第三十七條 財産目錄ハ様式第九號ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三十八條 組合ハ事業報告ニ付組合會ノ認定ヲ經タルトキハ
年度末現在ニ依リ調製シタル財産目錄ト共ニ之ヲ公示スヘシ

第三十九條 (削除)

第四十條 組合ハ様式第十號ニ依リ毎月ノ事業狀況ヲ翌月十五
日迄ニ地方長官ニ報告スヘシ

第四十一條 組合原簿ハ様式第十一號ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第四十二條 組合ハ被保險者臺帳、歳入簿、歳出簿及現金出納
簿ヲ備フヘシ

前項ノ帳簿ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

第四十三條 組合ニ於テ組合員ノ權利義務ニ關スル規定ヲ定メ
又ハ改廢シタルトキハ遅滞ナク之ヲ地方長官ニ報告シ且組合
員ニ周知セシムヘシ

第四十四條 理事長就職、退職又ハ死亡シタルトキハ組合ハ遅
滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

三 療養ニ關スル施設
四 保養ニ關スル施設
五 健康ノ保持ニ關スル施設
第四十四條ノ三 組合聯合會設立ノ認可申請書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添付スヘシ

一 規約
二 事業計畫書
三 初年度ノ收入支出豫算
第四十四條ノ四 組合聯合會ノ收入支出ノ豫算ハ毎年二月末日迄ニ認可申請ヲ爲スヘシ

第四十四條ノ五 組合聯合會ノ決算及事業報告ハ年度經過後四月以內ニ總會ノ認定ニ付スヘシ
決算及事業報告ハ總會ノ認定ヲ經タル後遲滞ナク之ヲ厚生大臣ニ届出ツヘシ
前二項ノ規定ニ依リ事業報告ヲ總會ノ認定ニ付シ又ハ厚生大臣ニ届出ツル場合ニ於テハ之ニ年度末現在ニ依リ調製シタル財産目錄ヲ添付スヘシ

第四十四條ノ六 組合聯合會解散ノ認可申請書ニハ認可申請前一月以內ノ現在ニ於テ調製シタル財産目錄ヲ添付スヘシ
第四十四條ノ七 組合聯合會解散シタル場合ニ於テ清算終了シタルトキハ清算人ハ其ノ結果ヲ遲滞ナク厚生大臣ニ届出ツヘシ

合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク被保險者證ヲ其ノ保險醫ニ提出スヘシ
第一項ノ場合ニ於テ疾病又ハ負傷カ業務上ノ事由ニ因ルモノナルトキハ被保險者ハ之ニ關スル事業主ノ證明書ヲ提出スヘシ
法第四十八條第一項ノ規定ニ依リ繼續シテ療養ノ給付ヲ受ケルコトヲ得ル者ハ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ其ノ給付ヲ受ケルコトヲ得ルモノナルコトヲ被保險者ニ於テ承認シタル書面ヲ提出シテ之ヲ保險醫ニ申出ツヘシ
第四十五條ノ三 法第四十三條ノ二ノ規定ニ依ル一部負擔金ハ療養ノ給付ヲ受ケル都度保險醫若ハ保險藥劑師又ハ之ヲ使用スル者ニ對シ支拂フヘシ
第四十六條 保險醫ハ被保險者ニ對シ療養ヲ爲ササルニ至リタルトキハ被保險者證ニ所定ノ事項ヲ記入ノ上遲滞ナク之ヲ被保險者ニ返還スヘシ但シ其ノ被保險者ガ死亡シタルトキハ埋葬料又ハ法第四十九條第二項若ハ法第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給ヲ受クヘキ者ニ之ヲ返還スヘシ
前項ノ場合ニ於テ保險醫ハ第四十七條第一項ノ規定ニ依リ療養證明書ヲ交付シタルモノナルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス其ノ療養證明書ノ全部返納アリタルトキ被保險者證ヲ返還スヘシ但シ保險醫變更ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條ノ八 第二十五條、第三十三條、第三十八條、第四十二條第一項、第四十四條及第四十四條ノ二ノ規定ハ組合聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第二十五條、第三十三條及第三十八條中組合會トアルハ總會トシ第四十二條第一項中被保險者臺帳トアルハ會員名簿トシ第四十四條中理事長トアルハ會長、地方長官トアルハ厚生大臣トシ第四十四條ノ二中法第三十七條ノ二トアルハ法第四十二條ノ二第五項ノ規定ニ依リ準用シタル法第三十七條ノ二トス

第四章 保險給付
第四十五條 保險醫及保險藥劑師ハ別ニ定ムル療養ノ擔當ニ關スル規程ニ從ヒ懇切丁寧ニ被保險者ノ療養ノ給付及被扶養者ノ療養ヲ擔當スヘシ
前項ノ療養ノ擔當ニ關スル規程ヲ定メントスルトキハ日本醫師會長、日本齒科醫師會長又ハ日本藥劑師會長ノ意見ヲ聽クモノトス

第四十五條ノ二 被保險者ハ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ保險醫又ハ被保險者ノ指定スル者(以下保險醫ト總稱ス)ニ之ヲ申出ツヘシ
前項ノ場合ニ於テハ被保險者ハ被保險者證ヲ其ノ保險醫ニ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス此

第四十七條 保險醫ノ療養ヲ受ケル被保險者同時ニ他ノ保險醫ニ就キ療養ヲ受ケルノ必要アルトキハ被保險者證ヲ保管スル保險醫ニ就キ様式第十三號ニ依リ療養證明書ノ交付ヲ受ケヘシ
前項ノ療養證明書ハ之ヲ被保險者證ト看做シ第四十五條ノ二及前條ノ規定ヲ適用ス
被保險者保險醫ヨリ療養證明書ノ返還ヲ受ケタルトキハ之ヲ交付シタル保險醫(保險醫變更ノ場合ニ於テハ變更後ノ保險醫)ニ遲滞ナク返納スヘシ
第四十八條及第四十九條 (削除)
第五十條 被保險者ハ保險藥劑師ニ就キ藥劑ノ支給ヲ受ケントスルトキハ保險醫ニ申出テ處方箋ノ交付ヲ受クヘシ
保險醫ハ被保險者ヨリ處方箋ヲ求めラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
被保險者ニ對シ處方箋ヲ交付スル場合ニ於テハ保險醫ハ様式第十四號ニ依リ之ヲ作製スヘシ
第五十一條 被保險者ハ前條ノ規定ニ依ル處方箋ニ依リ藥劑ノ支給ヲ受ケントスルトキハ保險藥劑師ニ之ヲ提出スヘシ
第五十二條 療養ノ給付ヲ受ケル疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ被保險者ハ其ノ事實、第三者ノ氏名及住所(氏名又ハ住所不詳ナルトキハ其ノ旨)並疾病又ハ負傷

ノ狀況ヲ遲滞ナク地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ

第五十三條 被保險者令第七十七條第一號ノ規定ニ依リ療養費ノ支給ヲ受ケムトスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ届出ツヘシ

- 一 被保險者證ノ記號及番號
 - 二 發病又ハ負傷ノ年月日及原因
 - 三 疾病又ハ負傷カ業務上ノ事由ニ因ルモノナリヤ否ヤノ別
 - 四 疾病又ハ負傷ノ經過
 - 五 療養ノ給付ヲ受クルコト困難ナル事由
 - 五ノ二 被保險者醫師又ハ齒科醫師ニ就キ診療ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及住所並診療ノ内容、期間及之ニ要シタル費用ノ額
 - 六 疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ事實並第三者ノ氏名及住所(氏名又ハ住所不詳ナルトキハ其ノ旨)
- 疾病又ハ負傷カ業務上ノ事由ニ因ルモノナルトキハ之ニ關スル事業主ノ證明書ヲ前項ノ届書ニ添附スヘシ
- 被保險者特別ノ事情ニ因リ前項ノ證明書ヲ受クルコトヲ得サルトキハ届書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ
- 被保險者醫師又ハ齒科醫師ニ就キ診療ヲ受ケタル場合ニ於テハ其ノ診療ニ要シタル費用ノ額ニ關スル證憑書類ヲ第一項ノ届書ニ添附スヘシ

ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

- 一 第五十三條第一項第一號乃至第四號及第六號ニ掲クル事項
- 二 手當ヲ受ケタル醫師、齒科醫師其ノ他ノ者ノ氏名及住所
- 三 手當ノ内容及期間
- 四 手當ニ要シタル費用ノ額
- 五 緊急ナリシコトノ事由
- 第五十三條第二項、第五項及第六項並前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第五十六條ノ二 被保險者ガ別ニ定ムル病院又ハ診療所ニ就キ診療ヲ受ケタル場合ニ於テ當該被保險者ヨリ申請アリタルトキハ令第七十七條第四號ノ規定ニ依リ療養費ヲ支給ス
- 第五十三條(第一項第五號ヲ除ク)ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ療養費ノ支給ニ之ヲ準用ス
- 第五十六條ノ三 被保險者ハ法第四十三條第一項第四號乃至第六號ノ給付ヲ受ケントスルトキハ第五十三條第一項第一號乃至第三號ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スヘシ但シ已ムラ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク申請書記載事項及已ムラ得サル事由ヲ記載シタル届書ヲ提出スヘシ
- 前項ノ申請書又ハ届書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル醫師

第一項ノ届書ニハ被保險者證ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ニ依リ被保險者證ノ提出アリタルトキハ地方長官又ハ組合ハ所定ノ事項ヲ之ニ記入ノ上遲滞ナク被保險者ニ返付スヘシ

- 第五十四條 令第七十七條第二號ノ承認ノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ
 - 一 前條第一項第一號乃至第四號及第六號ニ掲クル事項
 - 二 診療ヲ受ケムトスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及住所並其ノ診療ヲ受ケムトスル事由
- 前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第五十五條 令第七十七條第二號ノ療養費支給ノ申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ
 - 一 被保險者證ノ記號及番號
 - 二 診療ノ内容及期間
 - 三 診療ニ要シタル費用ノ額
 - 四 診療ヲ受ケサルニ至リタルトキハ其ノ事由
- 前項ノ申請書ニハ診療ヲ要シタル費用ノ額ニ關スル證憑書類ヲ添附スヘシ
- 第五十三條第五項及第六項ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第五十六條 令第七十七條第三號ノ療養費支給ノ申請書ニハ左

又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘシ

- 一 法第四十三條第一項第四號乃至第六號ノ給付ヲ必要ト認ムル事由
- 二 病院又ハ診療所ヘノ收容ノ場合ニ在リテハ收容ノ期間
- 三 看護ノ場合ニ在リテハ看護ノ期間
- 法第四十三條第一項第四號ノ給付ヲ受ケントスル被保險者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ第一項ノ規定ニ拘ラス申請書又ハ届書ノ提出ヲ要セス
- 一 地方長官ノ指定スル病院又ハ診療所ニ收容セララルル場合
- 二 別ニ定ムル疾病又ハ負傷ニ因リ病院又ハ診療所ニ收容セララルル場合
- 第五十六條ノ四 法第四十四條ノ二第二項及法第四十七條第二項ノ規定ニ依リ結核性疾病ヲ指定ス
- 第五十六條ノ五乃至第五十六條ノ七 (削除)
- 第五十七條 傷病手當金支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ
 - 一 被保險者證ノ記號及番號
 - 二 發病又ハ負傷ノ年月日及原因
 - 三 疾病又ハ負傷カ業務上ノ事由ニ因ルモノナリヤ否ヤノ別
 - 四 勞務ニ服スルコト能ハサリシ期間
 - 五 被保險者カ病院又ハ診療所ニ收容セラレタルモノナルト

- キハ其ノ病院又ハ診療所ノ名稱、所在地、收容セラレタル年月日及期間並ニ専ラ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者アルトキハ其ノ者ノ氏名、生年月日及被保險者トノ續柄
- 六 令第七十八條ノ三ニ規定スル被保險者ナリヤ否ヤノ別
- 七 傷病手當金カ令第八十五條但書ノ規定ニ依ルモノナルトキハ其ノ報酬ノ額及期間
- 八 傷病手當金カ令第八十六條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ受クルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ額及期間受、クルコト能ハサリシ報酬ノ額及期間並ニ令第八十五條但書ノ規定ニ依リ受ケタル傷病手當金ノ額及報酬ヲ受クルコト能ハザリシ事由前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ
- 一 前項第四號ノ期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書及事業主ノ證明書
- 二 疾病又ハ負傷ガ業務上ノ事由ニ因ルモノナルトキハ之ニ關スル事業主ノ證明書
- 三 傷病手當金ガ法第四十七條第二項ノ規定ニ依ルモノナルトキハ結核性疾病ナルコトヲ證スルニ足ル醫師ノ意見書療養ノ給付ヲ受クルコト困難ナル爲療養費ノ支給ヲ受クル場合ニ於テハ傷病手當金支給ノ請求書ニハ前項第一號(事業主ノ證明書ヲ除ク)及第二號ノ書類ハ之ヲ添付スルコトヲ要セズ此ノ場合ニ於テハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載スベシ

- 同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付引續キ傷病手當金ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ請求書ニ第二項第二號ノ證明書及第三號ノ意見書ヲ添付スルコトヲ要セズ
- 第五十八條 法第四十八條第一項ノ規定ニ依ル療養ノ給付ノ申請書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
- 一 被保險者ノ氏名並被保險者證ノ記號及番號
- 二 療養ノ給付ヲ受ケムトスル期間
- 三 療養ニ要スル費用ノ見積額
- 四 現ニ療養ヲ受クル保險醫ノ氏名及住所
- 五 法第四十八條第一號ノ場合ニ於テハ事業主ニ於テ扶助ヲ爲スヘキ義務ノ基ク法令ノ條項
- 六 法第四十八條第一項第二號ノ場合ニ於テハ擔保ノ種類、數量及價格又ハ費用ノ償還ニ付定メタル方法
- 第五十九條 埋葬料支給ノ請求書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ市町村長ノ埋火葬認許證ノ寫、死亡診斷書ノ寫又ハ被保險者ノ死亡ニ關スル事業主ノ證明書ヲ添付スベシ
- 一 死亡シタル被保險者ノ氏名並被保險者證ノ記號及番號
- 二 死亡ノ年月日及原因
- 三 死亡カ第三者ノ行爲ニ因ルモノナルトキハ其ノ事實並第一三者ノ氏名及住所(氏名又ハ住所不詳ナルトキハ其ノ旨)
- 四 被保險者ト請求者トノ續柄

- 五 死亡カ業務上ノ事由ニ因ルモノナリヤ否ヤノ別
- 六十條 法第四十九條第二項又ハ法第五十六條第二項ノ埋葬費支給ノ請求書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ市町村長ノ埋火葬認許證ノ寫、死亡診斷書ノ寫又ハ被保險者ノ死亡ニ關スル事業主ノ證明書及埋葬ニ要シタル費用ノ額ニ關スル證憑書類ヲ添付スベシ
- 一 前條第一號乃至第三號ニ掲グル事項
- 二 埋葬ヲ行ヒタル年月日
- 三 埋葬ニ要シタル費用ノ額
- 四 死亡カ業務上ノ事由ニ因ルモノナリヤ否ヤノ別
- 第六十一條 分娩費支給ノ請求ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ市町村長、醫師又ハ産婆ニ於テ出産又ハ死産ノ事實ヲ證明シタル書類ヲ添付スベシ
- 一 被保險者證ノ記號及番號
- 二 分娩ノ年月日
- 三 死産ナルトキハ其ノ旨
- 四 分娩費ガ令第八十三條第一項ノ規定ニ依ルモノナルトキハ收容セラレタル産院又ハ病院若ハ診療所ノ名稱及所在地
- 第六十二條 出産手當金支給ノ請求書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
- 一 被保險者證ノ記號及番號

- 二 分娩前ノ場合ニ於テハ分娩ノ豫定年月日、分娩後ノ場合ニ於テハ分娩アリタル年月日
- 三 勞務ニ服セザリシ期間
- 四 被保險者ガ産院又ハ病院若ハ診療所ニ收容セラレタルモノナルトキハ其ノ産院又ハ病院若ハ診療所ノ名稱、所在地、收容セラレタル年月日及期間並ニ専ラ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者アルトキハ其ノ者ノ氏名、生年月日及被保險者トノ續柄
- 五 出産手當金カ令第八十五條但書ノ規定ニ依ルモノナルトキハ其ノ報酬ノ額及期間
- 六 出産手當金カ令第八十六條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ受クルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ額及期間、受クルコト能ハサリシ報酬ノ額及期間並ニ令第八十五條但書ノ規定ニ依リ受ケタル出産手當金ノ額及報酬ヲ受クルコト能ハザリシ事由前項ノ請求書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ
- 一 前項第三號ノ期間ニ關スル事業主ノ證明書
- 二 分娩ノ豫定年月日ニ關スル醫師又ハ産婆ノ意見書
- 前項第二號ノ意見書ニ付テハ第五十七條第四項ノ規定ヲ準用ス
- 第六十三條 被保險者ハ被扶養者ヲ有スルトキハ其ノ資格取得後五日以内ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル被扶養者調査ヲ事

業主ニ提出スベシ被扶養者ヲ有スルニ至リタルトキ亦同ジ
一 被扶養者ノ職業、住所、氏名、生年月日及被保險者トノ
續柄

二 被扶養者ガ被保險者ノ配偶者及子以外ノモノナルトキハ
同一ノ世帯ニ屬シタル年月日及扶養スルニ至リタル事由
前項ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ其ノ都度之ヲ事業主ニ
届出ツベシ

第六十三條ノ二 事業主ハ被扶養者調書ヲ編綴前條第二項ノ届
出アリタル都度之ヲ整理スベシ事業主ニ於テ前條第一項ノ記
載事項ニ變更アリタルコトヲ知リタルトキ亦同シ

第六十三條ノ三 被保險者ハ被扶養者カ保險醫ニ就キ療養ヲ受
ケントスルトキハ事業主ニ申出テ家族診療券ノ交付ヲ受ケヘ
シ

前項ノ申出アリタルトキハ事業主ハ様式第十五號ニ依ル家族
診療券ヲ交付スヘシ

事業主ハ前項ノ家族診療券ヲ交付シタルトキハ被扶養者調書
ニ診療交付年月日其ノ他必要ナル事項ヲ記載スヘシ

事業主ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニヨリ發シタル疾病ニ付テ
ハ再ヒ家族診療券ヲ交付スルコトヲ得ス第六十三條ノ五ノ規
定ニ依リ家族療養證明書ノ交付ヲ受ケヘキ場合ニ付亦同シ家
族診療券ヲ減失又ハ毀損シタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス家

族診療券ノ再交付ヲ爲スコトヲ得

第六十三條ノ四 第四十五條ノ二第一項及第二項ノ規定ハ被扶
養者カ保險醫ニ就キ療養ヲ受ケル場合ニ之ヲ準用ス

第五十條及第五十一條ノ規定ハ被扶養者カ保險藥劑師ニ就キ
藥劑ノ支給ヲ受ケル場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條ノ五 保險醫ニ就キ療養ヲ受ケル被扶養者カ保險醫
ヲ變更セントスルトキ又ハ同時ニ他ノ保險醫ニ就キ療養ヲ受
ケントスルトキハ現ニ療養ヲ受ケル保險醫ヨリ様式第十六號
ニ依ル家族療養證明書ノ交付ヲ受ケヘシ

前項ノ家族療養證明書ハ之ヲ家族診療券ト看做シ前條第一項
ノ規定ヲ適用ス

第六十三條ノ六 被扶養者カ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ療養
ヲ受ケタル場合ニ於テハ地方長官又ハ組合ハ令第八十七條ノ
第五第一項ノ規定ニ依リ其ノ被保險者ニ支給スヘキ家族療養費
ヲ當該保險醫若ハ保險藥劑師又ハ之ヲ使用スル者ニ對シ支拂
フモノトス

保險醫又ハ之ヲ使用スル者ハ前項ノ家族療養費ヲ請求セント
スルトキハ其ノ請求書ニ家族診療券又ハ家族療養證明書ヲ添
附スヘシ但シ既ニ提出シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十三條ノ七 左ノ場合ニ於テハ令第八十七條ノ三第一項ノ
家族療養費ニ代ヘテ同條第二項ノ家族療養費ヲ支給スルコト

ヲ得

一 被扶養者カ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ療養ヲ受ケタルコ
ト困難ナリト保險者ニ於テ認メタルトキ

二 保險者ノ承認ヲ受ケ被扶養者カ保險醫以外ノ醫師又ハ齒
科醫師ノ診療ヲ受ケタル場合ニ於テ被保險者ノ申請アリタ
ルトキ

三 被扶養者カ緊急ノ場合ニ於テ保險醫以外ノ醫師又ハ齒科
醫師其ノ他ノ者ノ手當ヲ受ケタル場合ニ於テ被保險者ノ申
請アリタルトキ

四 被扶養者カ第五十六條ノ二第一項ノ病院又ハ診療所ニ就
キ診療ヲ受ケタル場合ニ於テ被保險者ヨリ申請アリタルト
キ

第六十三條ノ八 被保險者ハ前條第一號ノ規定ニ依リ家族療養
費ノ支給ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ届出ツヘシ

一 被扶養者ノ氏名、生年月日及被保險者トノ續柄
二 令第八十七條ノ三第一項ノ家族療養費ノ支給ヲ受ケルコ
ト困難ナル事由

三 第五十三條第一項第一號、第二號、第四號及第六號ニ掲
クル事項

四 被扶養者カ醫師又ハ齒科醫師ニ就キ診療ヲ受ケタル場合
ニ於テハ其ノ醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及住所並ニ診療ノ内

容、期間及之ニ要シタル費用ノ額

前項ノ届書ニハ被扶養者タルコトヲ證スルニ足ル事業主ノ證
明書ヲ添附スヘシ

第五十三條第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第六十三條ノ九 第六十三條ノ七第二號ノ承認ノ申請書ニハ左
ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 被扶養者ノ氏名、生年月日及被保險者トノ續柄
二 第五十三條第一項第一號、第二號、第四號及第六號ニ掲
クル事項

三 診療ヲ受ケントスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及住所並ニ
其ノ診療ヲ受ケントスル事由

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第六十三條ノ十 第六十三條ノ七第二號ノ家族療養費支給ノ申
請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 被扶養者ノ氏名
二 第五十五條第一項各號ニ掲クル事項

第五十五條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第六十三條ノ十一 第六十三條ノ七第三號ノ家族療養費支給ノ
申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 被扶養者ノ氏名、生年月日及被保險者トノ續柄
二 第五十三條第一項第一號、第二號、第四號及第六號ニ

ケル事項

三 第五十六條第一項第二號乃至第五號ニ掲クル事項
第五十五條第二項及第六十三條ノ八第二項ノ規定ハ前項ノ場
合ニ之ヲ準用ス

第六十三條ノ十二 第六十三條ノ七第四號ノ家族療養費支給ノ
申請書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 被扶養者ノ氏名、生年月日及被保險者トノ続柄
二 第五十三條第一項第一號、第二號、第四號及第六號ニ掲
クル事項

三 診療ヲ受ケタル病院又ハ診療所ノ名稱及所在地

四 第五十五條第一項第二號乃至第四號ニ掲クル事項

第五十五條第二項及第六十三條ノ八第二項ノ規定ハ前項ノ場
合ニ之ヲ準用ス

第六十三條ノ十三 第五十二條及第五十六條ノ三ノ規定ハ家族
療養費ニ之ヲ準用ス

第六十三條ノ十四 配偶者分擔費支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル
事項ヲ記載シ市町村長、醫師又ハ産婆ニ於テ出産又ハ死産ノ

事實ヲ證明シタル書類及被扶養者ニシテ配偶者タルコトヲ證
スルニ足ル事業主ノ證明書ヲ添付スヘシ

一 第六十一條第一號乃至第三號ニ掲クル事項

二 配偶者ノ氏名及生年月日

第六十四條 本章ノ規定ニ依リ醫師、齒科醫師若ハ産婆ノ意見
書若ハ證明書又ハ事業主若ハ市町村長ノ證明書ヲ添付スヘキ
場合ニ於テ保險給付ノ請求書、申請書又ハ届書ニ相當ノ記載
ヲ受ケタルトキハ意見書又ハ證明書ノ添付ヲ省略スルコトヲ
得

第六十五條 事業主ハ保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ本章ノ規
定ニ依ル證明書又ハ家族診療券ヲ求メラレタルトキハ正當ノ
事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

前條ノ規定ニ依ル證明ノ記載ヲ求メラレタルトキ亦同シ
第六十六條 保險醫ハ保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ本章ノ規
定ニ依ル意見書又ハ證明書ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由
アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス第六十四條ノ規定ニ依ル
意見又ハ證明ノ記載ヲ求メラレタルトキ亦同シ

第六十六條ノ二及第六十六條ノ三 (削除)
第六十七條 地方長官又ハ組合ハ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ
保險給付ニ關シ帳簿書類ヲ閲覽シ、説明ヲ求メ又ハ報告ヲ徵
スルコトヲ得

第六十八條 保險醫ハ被保險者及被扶養者ニ關スル診療録ヲ其
ノ他ノ診療録ト區別シテ調製シ被保險者及被扶養者ノ診療ニ
關シ必要ナル事項ヲ之ニ記載スヘシ

前項ノ規定ハ保險藥劑師ニ之ヲ準用ス但シ診療録トアルハ調

刑録トシ診療トアルハ藥劑ノ支給トス

第六十九條 組合ハ其ノ管掌スル保險ノ給付ニ關スル手續ニ付

第五十二條乃至第五十六條ノ三、第五十七條乃至第六十二條
及第六十三條ノ八乃至第六十三條ノ十四ノ規定ニ拘ラス別段
ノ定ヲ爲スコトヲ得

第七十條 (削除)

第七十一條 本章ニ於テ被保險者トアルハ被保險者ノ資格喪失
後保險給付ヲ受クル者ヲ含ムモノトス

第五章 (削除)

第七十二條乃至第七十九條 (削除)

第六章 罰 則

第八十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ
處ス

一 第三條、第四條第二項、第十條乃至第十條ノ三、第十一
條第二項、第十七條第一項及第十八條乃至第二十條ノ規定
ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

二 第五條第二項ノ規定ニ依ル標準報酬ノ告知ヲ怠リタル者

三 正當ノ事由ナクシテ第六十五條ノ規定ニ依ル請求ニ應セ
ズ又ハ虚偽ノ證明ヲ爲シタル者

四 第七條ノ規定ニ依ル保険料ノ控除ニ關スル計算書ノ備付
若ハ記載ヲ怠リ、虚偽ノ記載ヲ爲シ又ハ故ナク被保險者ニ

對シ閱覽ヲ拒ミタル者

五 第八條ノ規定ニ依ル書類ノ保存ヲ怠リタル者

六 第六十三條ノ二ノ規定ニ依ル被扶養者圖書ノ編綴又ハ整
理ヲ怠リタル者

七 第六十三條ノ三ノ規定ニ依ル家族診療券ヲ不正ニ交付シ
又ハ之ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

第八十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又
ハ科料ニ處ス

一 第十一條第一項ノ規定ニ依ル申出ヲ怠リ又ハ虚偽ノ申出
ヲ爲シタル者

二 第十七條第二項、第二十一條第一項、第五十二條及第六
十三條ノ規定ニ依ル届出ヲ怠リ又ハ其ノ届書ニ虚偽ノ記載
ヲ爲シタル者

三 第二十三條ノ二第一項但書、第四項若ハ第五項ノ規定ニ
依ル被保險者證ノ返納又ハ同條第三項ノ規定ニ依ル提出ヲ
怠リタル者

四 第四十七條第三項ノ規定ニ依ル療養證明書ノ返納ヲ怠リ
タル者

附 則

第八條、第九條、第十三條乃至第十六條、第十九條、第二十一
條、第二十四條乃至第四十四條、第六十七條、第八十條及第八

十一條ノ規定ハ大正十五年七月一日ヨリ、第一條ノ規定ハ大正十五年十月一日ヨリ、第二條乃至第五條、第十條乃至第十二條、第十八條、第二十條、第二十二條及第二十三條ノ規定ハ大正十五年十一月一日ヨリ、第六條、第七條、第十七條、第四十五條乃至第六十六條及第六十八條乃至第七十九條ノ規定ハ大正十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十條第一項ノ規定ニ依ル届出ノ期間ハ第十條ノ規定施行ノ日以前ニ於テ被保險者ノ資格ヲ取得シタル者ニ關シテハ第十條ノ規定施行ノ日ヨリ五日以内トス

附 則 (昭和四年六月内務省令第十八號)
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和九年十二月内務省令第三十九號)
本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和九年法律第十三號實施ノ爲ニ豫メ必要ナル事項ニ關シテハ昭和十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十五年五月厚生省令第十九號)
本令ハ昭和十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス
但シ第八條ノ二ノ改正規定、第四十四條ノ二、第四十四條ノ三、第五十六條三、第五十六條ノ四、第五十六條ノ五、第五十六條ノ六、第六十四條ノ改正規定、第六十六條ノ改正規定、第六

十六條ノ二改正規定及第七十三條ノ改正規定並ニ様式第六號中(二)(三)ノ改正規定、様式第七號中(二)(三)ノ改正規定、様式第八號中(二)ノ改正規定及様式第十號ノ改正規定ハ昭和十四年法律第七十四號中第一條第二項、第七條第二項、第四十七條第二項第三項、第六十二條第四項及第六十九條ノ二ノ規定並ニ第七十六條ノ改正規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (昭和十七年一月厚生省令第五號)
本令ハ昭和十七年二月一日ヨリ之ヲ施行ス
事業主ハ昭和十七年二月一日ノ現在ニ依リ被保險者ノ報酬月額算定ノ基礎ニ關スル届書ヲ様式第一號ニ依リ同月十日迄ニ地方長官又ハ健康保險組合ニ届出ツヘシ但シ政府管掌被保險者ニシテ労働者年金保險ノ被保險者タル者ニ關シテハ様式特第一號ニ依ル届書(正副)ニ通テ提出スヘシ

本令施行ノ日後昭和十七年四月一日前ニ於テ健康保險法第十三條又ハ同法第十五條ニ規定スル被保險者ノ資格ヲ取得シタル者アルトキハ事業主ハ第十條第一項又ハ第十一條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スノ外從前ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スヘシ
第二項又ハ前項ノ規定ニ依ル届出アリタルトキハ地方長官又ハ健康保險組合ハ標準報酬ヲ決定シ遲滞ナク之ヲ事業主ニ通知スヘシ

附 則 (昭和十七年一月厚生省令第五九號)

本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和十七年法律第三十八號中第一條第二項、第十三條及第四十五條ノ改正規定並ニ第十三條ノ二、第四十三條ノ三乃至第四十三條ノ五及第五十九條ノ二ノ規定實施ノ爲ニ豫メ必要ナル範圍内ニ於テハ昭和十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

職員健康保險法施行規則ハ之ヲ廢止ス

前項ノ規定施行ノ際職員健康保險ノ被保險者タリシ者ニシテ健康保險ノ被保險者タルヘキモノハ昭和十七年法律第三十八號附則第五項ノ規定ニ依リ法第十三條、法第十五條又ハ法第二十條ノ各規定ニ依ル健康保險ノ被保險者ト爲ルモノトス

第二項ノ規定施行ノ際現ニ職員健康保險ノ被保險者タリシ者ニシテ引續キ健康保險ノ被保險者ト爲リタルモノニ付テハ事業主ハ第十條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スコトヲ要セス

事業主ハ昭和十八年四月一日現在ニ依リ令第七十八條ノ三ニ規定スル被保險者ニ付様式第四號ニ準シ同月十日迄ニ地方長官又ハ組合ニ届出ツヘシ但シ昭和十八年四月一日ニ於テ新ニ被保險者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

本令施行前ヨリ引續キ被保險者タル者ニ付テハ第六十三條ノ規定ノ適用ニ付テハ昭和十八年四月一日ニ被保險者ノ資格ヲ取得シタルモノト看做ス第二項ノ規定施行前職員健康保險法施行規則ニ基キテ爲シタル命令又ハ處分ハ本令中ノ相當規定ニ基キテ

之ヲ爲シタルモノト看做ス第二項ノ規定施行前職員健康保險法施行規則ニ基キテ爲シタル申請、報告又ハ届出ニ付亦同シ

本令施行前ニ交付シタル被保險者證及療養證明書並ニ第二項ノ規定施行前職員健康保險法施行規則ニ基キテ交付シタル被保險者證ハ本令施行後ト雖モ之ヲ使用スルコトヲ妨ケス

被保險者ハ本令施行前ニ交付ヲ受ケタル處方箋及第二項ノ規定施行前職員健康保險法施行規則ニ基キテ交付ヲ受ケタル處方箋ニ依リ藥劑ノ支給ヲ受クルコトヲ妨ケス

本令施行前ヨリ引續キ存スル健康保險組合及第二項ノ規定施行ノ際現ニ存スル職員健康保險組合ニシテ健康保險組合ト爲リタルモノノ昭和十七年度ノ決算、事業報告、財産目錄及事業狀況報告ノ様式ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第二項ノ規定施行前職員健康保險法施行規則ニ違反シタル者ノ處罰ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

健康保險ノ被保險者タラサル臨時使用人ニ關スル件、官吏及待遇官吏ハ健康保險ノ被保險者タラサルノ件、健康保險組合臺帳閱覽ノ件、健康保險法第十條ノ規定ニ依ル職權委任ノ件、職員健康保險ノ被保險者タラサル者ニ關スル件、職員健康保險組合臺帳閱覽ノ件及昭和十六年厚生省令第二〇號ハ之ヲ廢止ス

健康保險被保險者資格取得届

被保險者 氏名 及 記號	(名稱)	性別	生年月日	甲乙ノ別	資格 取得 日	基礎		計	納額		備考
						料給 付 月 額	料給 付 月 額		月額	年額	
被保險者 氏名	(名稱)	男 女 別	年 月 日	甲 乙 ノ 別	年 月 日	賃金 給料 月額	賃金 給料 月額	計	月額	年額	
		男 女 別	年 月 日		年 月 日	賃金 給料 月額	賃金 給料 月額				
		男 女 別	年 月 日		年 月 日	賃金 給料 月額	賃金 給料 月額				
		男 女 別	年 月 日		年 月 日	賃金 給料 月額	賃金 給料 月額				
		男 女 別	年 月 日		年 月 日	賃金 給料 月額	賃金 給料 月額				

住所又ハ所在地 事業主 氏名又ハ名稱

昭和 年 月 日

備考

- 一 本届書ノ用紙ハ日本標準規格B列5番 (102mm x 257mm) ノ大サトス
- 二 新ニ健康保險法ノ適用ヲケル被保險所ニ在リテハ「被保險者」ノ記載ニ關シ

ニ新規ト記載スベシ

三 「男女別」欄「男女」欄ハ被保險者男子ナルトキハ「男」ノ文字ヲ、女子ナルトキハ「女」ノ文字ヲ抹消スベシ

四 「甲乙ノ別」欄ニハ被保險者健康保險法施行令第七十八條ノ三ニ規定スル被保險者ナルトキハ「甲」ト、其ノ他ノ被保險者ナルトキハ「乙」ト記載スベシ

五 「納額月額算定基礎」欄ニハ健康保險法施行令第五條第一項各款ノ規定ニ依リ算定シタル納額月額ヲ記載スベシ

六 「被保險者」及「被保險者」欄ハ空欄ト爲シ置クベシ

七 被保險者健康保險法第六十二條第一項各款ノ一ニ該当スル場合ニ於テハ其ノ該当事項ヲ「備考」欄ニ記載スベシ

八 資格取得前被保險者アリシ者ニ付テハ最後ノ被保險者ハ其ノ府縣名又ハ健康保險組合ノ名稱、事務所ノ名稱及所在地ヲ「備考」欄ニ記載スベシ但シ健康保險法第二十條ノ規定ニ依リ被保險者タリシ者ナルトキハ同欄ニ「法第二十條ノ被保險者」ト記載スベシ

九 被保險者アリシ者ニ付テハ資格取得後繼續シテ保險給付ヲ受クル者ガ被保險者ノ資格ヲ取得シタル場合ニ於テハ其ノ旨及給付ノ額別並ニ其ノ給付ガ探見ノ給付又ハ傷病手当金ノ支給ナルトキハ其ノ傷病名ヲ「備考」欄ニ記載スベシ

十 資格取得前被保險者タリシ者ニ付テハ保險給付ヲ受ケタル日ヨリ其ノ支給期間間ノ経過シタルモノハ未治療ノ傷病アル者ニ在リテハ其ノ傷病名ヲ「備考」欄ニ記載スベシ

十一 健康保險法第二十條ノ規定ニ依リ被保險者ガ同法第十三條、同法第十五條又ハ同法第十五條ノ二ノ規定ニ依リ被保險者ト爲リタルモノナルトキハ「法第二十條」ヨリ法第十三條ハ、「法第二十條」ヨリ法第十五條ハ、「法第二十條」ヨリ法第十五條ノ二「ト」ト「備考」欄ニ記載スベシ

十二 被保險者ガ轉勤ニ依リ其ノ資格ヲ取得シタル者ナルトキハ「備考」欄ニ「轉勤」ト記載スベシ

十三 本届書ニ定ムル事項ノ外健康保險組合ニ於テ必要アリト認ムル事項ハ別ニ備考欄ニ記載スベシ

様式第十號

昭和何年何月分事業報告

何府(縣)何市(郡)何町(村)大字何番地

何健康保險組合

一 標準報酬等級別被保險者數

種別	甲	乙	計
第 1 級			
第 2 級			
第 3 級			
第 4 級			
第 5 級			
第 6 級			
第 7 級			
第 8 級			
第 9 級			
第 10 級			
第 20 級			
第 30 級			
第 40 級			
第 50 級			
計			

備考

一月末現在ニ依ルベシ

二甲トアルハ健康保險法施行令第七十八條ノ三ニ規定スル被保險者、乙トアルハ其ノ他ノ被保險者ヲ謂フ

三 健康保險法第十五條ノ二ノ規定ニ依テ「計」欄ニ内書スベシ

二 保險給付状況

種別	件数	日数	備考
療養ノ給付			
療養費			
傷病手当金			
埋葬料(費)			
分焼費			
出產手当金			
家族療養費			
配偶者分焼費			

備考

一 健康保險法第四十八條第一項ノ規定ニ依ル療養ノ給付ノ分、×印ヲ附シ區別シテ之ヲ記載スベシ

二 療養費、傷病手当金、埋葬料、埋葬費、分焼費、出產手当金、家族療養費及配偶者分焼費ニ在リテハ事故發生ノ日ノ屬スル月ノ如何ニ拘ラズ現ニ之ガ支拂ヲ爲シタル月ノ分ノ報告ニ記載スベシ

三 同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付數回ニ分テテ給付ヲ爲シタル場合ト雖モ此ノ數回分テ合シテ一件トシテ尙療養費、傷病手当金又ハ家族

療養費ニシテ二以上ノ疾病又ハ負傷ニ付通シテ支給シタルモノニ在リテハ之ヲ通シテ一件トシテ記載スベシノ分焼ニ付數回ニ分テテ給付ヲ爲シタル場合

亦同シ

三 收支、状況

種別	何	何	何	何	計
本年度収入額					
本年度収入累計額					

種別	何	何	何	何	計
本年度豫算額					
本年度支出累計額					

種別	本月借入額	本月返済額	本月末現在額
一時借入金等			
一時借入金			
準備金繰替使用			
前年度収支繰金			
一時充當			
計			

備考

一 四月分及五月分ノ收支状況ニ付テハ其ノ年度ノ屬スル分ト前年度ニ屬スル分トハ之ヲ別表ト爲スベシ此ノ場合ニ於テハ所屬年度ヲ附記スベシ

二 収入又ハ支出ノ種別欄ハ豫算ノ事項ヲ記載スベシ

三 収入ノ確定ヲ爲シタルモ未ダ收入セザル金額並ニ支持ノ請求ヲ受ケタルモ未ダ支出セザル金額及支持ノ請求ヲ受ケタルモ支持請求ノ既ニ發生シタル金額

ヲ備考トシテ記載スベシ
 四 過年度支出ノ科目ヨリ支出シタル金額ニ付テハ其ノ種類ヲ備考トシテ記載
 スベシ

本項ニハ健康保險法第二十三條ノ規定ニ依リ施設シタル事項及其ノ成績ノ概要ヲ
 記載スベシ
 五 議員及理事ノ異動

本項ニハ就職又ハ退職者ハ死亡シタル議員又ハ理事ノ數ヲ選定議員若ハ五選議員
 又ハ選定議員タル理事若ハ五選議員タル理事ニ區別シ記載スベシ尙月末現在ニ於
 テ缺員數アルトキハ其ノ數ヲ同様ニ區別シ記載スベシ

様式第十一號

組合原簿

組合ノ名稱其ノ他

名	設立年月日	事務所所在地	組合ノ設立アル事業所ノ名稱所在地及事業ノ種類	要旨

理事

氏名	生年月日	住	所	就職年月日	種別	任期	摘要	定員	
								事業主ノ選定シタル議員中ヨリ互選シタル者	被保險者タル議員中ヨリ互選シタル者
								計	
								人	人

議員

氏名	生年月日	住	所	就職年月日	種別	任期	摘要	定員	
								事業主ノ選定シタル者	被保險者中ヨリ互選シタル者
								計	
								人	人

事業主タル組合員

氏名	生年月日	住	所	組合員タル資格取得ノ年月日	組合員タル資格取得ノ事由	摘要

備考

- 記載事項ニ變更アリタルトキハ之ヲ改訂スルト共ニ變更ノ事項及年月日ヲ「摘要」欄ニ記載スベシ
- 理事又ハ議員退職又ハ死亡シタルトキ、組合員其ノ資格ヲ喪失シタルトキハ未練ヲ以テ抹消シ年月日及事由ヲ「摘要」欄ニ朱書スベシ
- 他ノ組合ヲ合併シタルトキ又ハ組合ガ分割シタルトキハ其ノ年月日及合併又ハ分割ノ組合名ヲ「組合ノ名稱其ノ他」ノ部ノ「摘要」欄ニ記載スベシ
- 「理事」ノ部ノ「種別」欄ニハ事業主ノ選定シタル議員中ヨリ互選シタル者、被保險者タル議員中ヨリ互選シタル者ノ別ヲ記載スベシ「議員」ノ部ノ「種別」欄亦之ニ準ズ
- 理事長、理事代理者又ハ常務理事ニ付テハ「理事」ノ部ノ氏名ノ右肩ニ「理事長」「理事長代理」又ハ「常務理事」ト記載スベシ
- 「理事」ノ部及「議員」ノ部ノ「任期」欄ハ「自昭和何年月何日至昭和何年月何日」ノ如ク記載スベシ
- 本様式ニ定ムル事項ノ外必要アリト認ムル事項ハ別ニ欄ヲ設ケテ之ヲ記載スルコトヲ得

様式第十二號 (制除)

健康養老保險證明書

被保險者 氏名	住所	職業	事業所ノ名稱	事業所ノ所在地	開始日	終了日	終了事由	備考	認印
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日
現名	現名	現名	現名	現名	現名	現名	現名	現名	現名
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日

備考
 一 被保險者が男子ナルトキハ「男」ノ文字ヲ、女子ナルトキハ「女」ノ文字ヲ抹消スベシ
 二 「本證明書」ニ依リテ爲シタル療養ノ給付「欄」ノ事項ハ療養證明書ニ依リテ療養ヲ爲シタル保險醫ニ於テ其ノ療養證明書返還ノ際記載スベシ
 三 「本證明書」ニ依リテ爲シタル療養ノ給付「欄」ノ記載ニ付テハ様式第六號備考五ノ(イ)乃至(ト)ニ準ズベシ

様式第十五號

第 號	健康保險	家族診療券
被保險者證ノ記號及番號	所轄廳府縣(出張所)又ハ健康保險組合ノ名稱	昭和 年 月 日
被保險者ノ氏名	被保險者ノ資格取得年月日	昭和 年 月 日
事業所ノ名稱	事業所ノ所在地	
氏名	職業	被保險者トノ關係
療養ヲ受ケントスル被扶養者	生年月日	年 月 日
備考		

昭和 年 月 日交付
 住所又ハ所在地
 事業主 氏名又ハ名稱用

備考
 一 「第 號」ニハ交付番號ヲ附スベシ
 二 被扶養者ガ男子ナルトキハ「男」ノ文字ヲ抹消スベシ
 三 被扶養者ガ女子ナルトキハ「女」ノ文字ヲ、女子ナルトキハ「男」ノ文字ヲ抹消スベシ

様式第十四號

被保險者證ノ記號及番號	所轄廳府縣(出張所)又ハ健康保險組合ノ名稱	處方箋
被保險者	被扶養者	
氏名	氏名	
年齢	年齢	
業務上ノ傷病ナルトキハ其ノ旨		
藥名	分量	
用法		
用量		
使用期間	開始昭和 年 月 日	終了昭和 年 月 日
處方	昭和 年 月 日	
診療所ノ名稱、所在地又ハ保險醫ノ住所		
保險醫氏名印		

健康保險用

健康保險
家族療養證明書

被保險者證 記號及番號	所轄府縣(出張所)又 健康保險組合ノ名稱
被保險者ノ氏名	被保險者資格 取得年月日 昭和 年 月 日
事業所ノ名稱	
被扶養者 氏名	被保險者トシテ 養育
生年月日	年 月 日
現ニ療養ヲ爲ス傷病 名及給付開始年月日	
備考	

昭和 年 月 日交付

何府(縣)何市(郡)何町(村)大字何何番地

醫師(齒科醫師) 何 某

社會保險審査會規程中ノ改正

○勅令第八二六號(昭和十七年十二月)
社會保險審査會規程中左ノ通改正ス
第一條中「職員健康保險法第八十一條及第八十三條」及「第四十九條ノ
意見ノ答申及同法」ヲ削ル
第六條第一項第二號中「若ハ職員健康保險」ヲ削リ同項第四號中「健康
保險、國民健康保險若ハ職員健康保險」ヲ「健康保險若ハ國民健康保險」
ニ改ム
第七條第一項第二號及第三號中「職員健康保險」ヲ削ル
第十八條第一項中「職員健康保險組合」ヲ削ル
○厚生省令第五九號(昭和十七年十二月)
社會保險審査會規程施行規則中左ノ通改正ス
第三條第一項第二號中「工場、事業場、事務所又ハ事業所」ヲ「事業所」
ニ、第三號中「國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人又ハ職員健康保險組
合」ヲ、「又ハ國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人」ニ改メ第二項中「補
助金又ハ職員健康保險法第一條第二項ノ「ヲ」削リ「世帯員」ヲ「被扶
養者」ニ改メ第四項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
勞働者年金保險法第六十二條ノ規定ニ依リ請求スル中央社會保險審査
會ニ對スル審査請求書ニハ第一項第一號及第四號乃至第八號ノ事項ノ
外被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ氏名、生年月日並ニ被保險者臺帳
ノ記號及番號(不詳ナルトキハ其ノ旨)ヲ記載スベシ
第五條、第七條及第八條中「國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人又ハ

職員健康保險組合」ヲ「又ハ國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人」ニ改ム

勞働者年金保險法中ノ改正

○法律第三八號(昭和十七年二月)
勞働者年金保險法中左ノ通改正ス
第十六條及第十八條中「工場、事業場又ハ事業」ヲ「事業所」ニ改ム
第十七條第一項中第二號ヲ左ノ如ク改メ第三號及第四號ヲ削ル
二 健康保險法第十三條ノ事業所以外ノ事業所ニ使用セララル者
第十八條中第三號ヲ左ノ如ク改ム
三 前條第一項第二號ノ事業所ト爲ルニ至リタルトキ
第二十四條第三項、第三十二條第二項及第三十七條第二項中「工場、事
業場若ハ事業」ヲ「事業所」ニ改ム
○勅令第八二六號(昭和十七年十二月)
勞働者年金保險法施行令中左ノ通改正ス
第五條第一項第六號中「業務」ヲ「事業所」ニ改ム
第八條第二項ヲ左ノ如ク改ム
督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徵收金及督促手数料ヲ完納シタルトキ又
ハ前項ノ規定ニ依リ計算シタル金額ガ十錢未滿ナルトキハ延滞金ヲ徵
收セズ
第十條第一號(ロ)中「又ハ試ニ」ヲ削リ同條第二號中「工場、事業場
又ハ事業」ヲ「事業所」ニ改ム
第十一條 削除
第二十八條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改ム

地方長官ハ保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告知シタル保險料

ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保險料額ヲ超過スルコトヲ知リタルト
キ又ハ納付シタル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保險料額ヲ
超過スルコトヲ知リタルトキハ其ノ超過部分ニ關スル納入ノ告知又ハ
納付ハ其ノ告知又ハ納付ヲ爲シタル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラ
ルベキ保險料ニ對シ納期ヲ繰上ゲ之ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ納期ヲ繰上ゲ納入ノ告知又ハ納付ヲ爲シタルモノト
看做シタルトキハ地方長官ハ其ノ旨ヲ當該納付義務者ニ通知スベシ
第二十九條第二號、第三十九條第一項及第四十一條第一項中「工場、事
業場又ハ事業」ヲ「事業所」ニ改ム
○厚生省令第六十號(昭和十七年十二月)
勞働者年金保險法施行規則中左ノ通改正ス
第一條第一項中「工場、事業場又ハ工場若ハ事業場」キ事業ニ在リテハ
事務所(以下事業所ト總稱ス)ヲ「事業所」ニ改ム
第二條第一項及第十四條中「業務」ヲ「事業所」ニ改ム
第九條中「工場、事業場又ハ事業」ヲ「事業所」ニ改ム
第二十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ令第十條第三號ノ規定ニ依リ
被保險者タラザルモノトス
一 季節的業務ニ使用セララル者但シ其ノ者ガ繼續シテ六月ヲ超エ使
用セララルベキ場合ハ此ノ限ニ限ラズ
二 健康保險法第十三條第三號ノ事務所、同法同條第四號(ハ乃至ヌ)ノ
事業ノ事業所及健康保險法施行令第九條第二號ノ事業ノ事業所ニ使
用セララル者

第二十八條及第三十一條第二項第五號中「工場、事業場若ハ事業」ヲ「事業所」ニ改ム

様式第一號中「被保險者氏名」欄ノ點線及同號ノ備考第三號ヲ削リ同號ノ備考第四號ヲ第三號トシ以下順次繰上ゲ第四號ヲ左ノ如ク改ム

四 氏名ノ讀ミ方困難ナル被保險者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スベシ

様式第二號中「氏名」欄ノ點線ヲ削リ同號ノ備考第四號ヲ左ノ如ク改ム第九號ヲ削リ第十號ヲ第九號トシ第十一號ヲ第十號トス

四 氏名ノ讀ミ方困難ナル者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スベシ

四 氏名ノ讀ミ方困難ナル者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スベシ

三 氏名ノ讀ミ方困難ナル者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スベシ

三 氏名ノ讀ミ方困難ナル者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スベシ

三 氏名ノ讀ミ方困難ナル者ニ付テハ其ノ氏名ニ振假名ヲ附スベシ

附則
本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

【参考資料】

健康保険法の改正要綱

改正健康保険法、同施行令、同施行規則は以上を以て其の全部であるが、これが理解の参考のために去る第七十九議會に於て改正された健康保険法改正の要綱を以下に掲出して参考に資することとする。

健康保険法改正要綱

一通則

健康保険法と職員健康保険法との統一を爲すこと。

二 被保險者

(一) 職員健康保険適用職員報酬限界年千二百円を千八百円に引上げ其の額を越ゆる者は任意包括被保險者たり得ることとする。此の場合千八百円を越ゆる被保險者の保険料は全額負擔とすること。健康保険適用職員に付ても同様とすること。

(二) 職員健康保険は常時十人以上を使用する事業所に適用せしを三年後常時五人以上を使用する事業所に擴張すること。常時五人以上使用する事務所にして事業主が法人たるものにも適用すること。

(三) 強制適用の事業所以外の一切の事業所に使用せらるる者は凡て任意包括被保險者たり得ることとする。

(四) 被保險者を甲乙二種とし甲種被保險者は勞務不能の際三月以上繼續して俸給又は給料の全額を支給さるる職員とし其の他を乙種被保險者とする。

(五) 國民健康保険組合の設立ある場合に於ては甲種被保險者は國民健康保険組合に加入し因つて健康保険の被保險者と爲らざるを得ることとする。

三、保険給付

(一) 社會保険の療養給付關係事項の統一を計ること。

(イ) 健康保険の療養の給付に一部負擔を認むること。但し業務上の傷病に付ては一部負擔なしとすること。並に特別の事情ある健康保険組合に於ては事業主又は組合の醫療機關に就き診療を受くる場合には一部負擔を減免し得ることとする。

健康保険及職員健康保険の一部負擔は定額とし大體初診療十錢、藥劑一日分一劑五錢、注射處置等は一回十錢、齒科に付ては初診料五錢、治療料一回に付五錢、充填は一回に付十五錢、補綴一回に付三十錢とし、手術、入院検査等是一部負擔なしとすること。
健康保険の醫療費の支給は職員健康保険の例に倣ひ定額

とすること。

(ロ) 健康保険組合、職員健康保険組合の一般保險醫に對する診療報酬の額、一部負擔の額及事務的手續關係等は政府管掌同様統一すること。

(ハ) 國民健康保険組合の診療報酬の額及事務的手續關係等は可及的に政府管掌健康保険と同様の方針を取ること
(ニ) 傷病手當金支給額は大體現行法通り甲種被保險者に付ては標準報酬の百分の五十とし乙種被保險者に付ては百分の六十とすること

(三) 分娩費を三十圓に増額すること。

四 家族給付

(一) 同一の傷病にして其の費用三圓以上なるときは三圓を越ゆる金額に付其の二分の一の補給金を支給すること但し健康保険組合に於ては事業主又は組合の醫療機關に付診療を受けしむる場合に付三圓の限度を設けざるを得ること。

(二) 配偶者分娩したるときは補給金として十圓を支給すること

(三) 家族給付支給の條件は被保險者が繼續六月以上被保險者たることを要することとする。

(四) 家族の範圍は被保險者と同一の世帯に屬し専ら被保險者に依り生計を維持する者及同一の世帯に屬せざる妻子とすること。但し健康保険組合に在りては規約を以て家族手

當と同一範圍となす等の別段の定を爲し得ることとするこ
と。

五 費用の負擔

- (一) 標準報酬及保険料は月計算とすること。
- (二) 本改正に依る費用は政府管掌に在りては保険料を一圓に付甲種被保険者は三錢二厘、乙種被保険者は四錢六厘(炭坑勞務者は八錢六厘)として補填し得る見込なること。
- (三) 國庫負擔金は政府管掌分に付ては保険給付に要する費用の十分の一を負擔すること。但し被保険者一人に付一年平均二圓の割合を超ゆることを得ざること。尙ほ當分の内政府管掌特別會計の積立金の額が當該年度の保険給付の決算額を超ゆる場合に於ては其の年度の利子額を前項の國庫負擔金より控除することを得ること。
- (四) 國庫資金の組合管掌分に付ては各健康保險組合の保險付に要する費用の十分の一とすること。但し左の各號の割合を超ゆることを得ざること。
 - (イ) 採炭事業に使用せらるる被保險者一人に付被扶養者を有する場合に於ては一年四圓、之を有せざる場合に於ては一年二圓五十錢。
 - (ロ) 其他に在りては被保險者一人に付被扶養者を有する場合に於ては一年二圓五十錢、之を有せざる場合に在りては一年一圓。
- (五) 千八百圓以上の職員の任意包括加入者あるときは加入者の數に比例して前二項の負擔金を減すること。

六 其他

- (一) 共同の療養施設又は保險施設を利用する爲健康保險組合聯合會を法認すること。
- (二) 健康保險組合又は健康保險組合聯合會に對する疾病療養施設及疾病豫防施設の設置、維持並に之が費用の負擔に對する強制命令及強制豫算の制度を認むること。
- (三) 醫師、齒科醫師又は藥劑師は原則として保險醫又は保險藥劑師たることを拒否することを得ざることと爲すこと。
- (四) 診療報酬の額は關係醫師、齒科醫師又は藥劑師の各團體の意見を聽き主務大臣之を定むること。
- (五) 政府管掌の年金、勞災、船員等の各種社會保險の特別會計の事務費を健康保險特別會計に統合すること。

昭和十八年二月十一日印刷
昭和十八年二月十五日發行

編輯兼印刷 神谷睦夫

發行所 名古屋千種區田代町東畑一五 勤勞管理研究會

振替名古屋四〇一六〇番
文協會員番號一一二三五八番

印刷所 キン グ社印刷所
名古屋市東區葵町三四

電話東六三二九番
(中愛一四一番)



